

R4年度 事務事業評価シート				203	課・局・室・所(係)	教育総務課	総務係	事務事業番号	226020401
施策体系	大項目(章)				中項目(基本施策)			小項目(基本事業)	
	5	教育・文化・スポーツ			26	学校教育の推進		2	教育環境の向上
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
	4	学校教育振興事業	1	理科教育設備整備事業					政策的
事業概要	小中学校における理科教育の充実を図るため、国庫補助事業(理科教育設備整備費等補助金)を活用し、理科の授業で使用する実験器具等を整備する。					対象	全小中学校		
						手段	学校の要望に基づき、整備		
						意図	理科教育の実践のための環境整備		

事業期間	R1以前	年度	～	R9以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R2(決算額)			R3(決算額)			R4(決算額)			R5(予算額)
支出内訳	校用器具費	6,295千円		校用器具費	2,125千円		校用器具費	3,987千円		
				(新学習指導要			(小)2,607千円			
				領改訂増加(中))			(中)1,380千円			
合 計		6,295千円			2,125千円			3,987千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金	1/2	3,121千円	1/2	1,061千円	1/2	1,977千円			
	県支出金									
	地方債									
	その他									
	一般財源		3,174千円		1,064千円		2,010千円			
	合 計		6,295千円		2,125千円		3,987千円			
人工数	人件費	0.35人	2,030千円	0.15人	868千円	0.40人	2,293千円			
総経費		8,325千円			2,993千円		6,280千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R2	R3	R4	R5
1	整備した実験器具等の数	活動	-	-	-	
			303点	57点	135点	
2	市内小中学校の平均整備率(全校理科備品現有額／(基準金額×学校数)×100)	活動	38.0%	38.5%	40%	
			36.9%	39.6%	40.5%	
			97.11%	102.86%	101.25%	
3						

成果	全小中学校において理科教育設備の整備を実施し、理科教育の充実や学力向上に向けた取組の推進につながった。					
R6年度に向けた課題及び改善策	補助率1/2の事業であるため、整備率を大幅に上げることは難しいが、国が示す重点設備を中心に整備し理科教育の充実を図る。					
目標達成度	A	R6年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項						

R4年度 事務事業評価シート

204

課・局・室・所(係)

教育総務課

学校施設係

事務事業番号

226020512

施策体系	大項目(章)			中項目(基本施策)			小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ		26	学校教育の推進		2	教育環境の向上		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分	
	5	学校施設整備事業	12	厚狭中学校教室棟トイレ改修工事						政策的
事業概要	令和元年8月に厚狭中学校教室棟2階女子トイレの天井からコンクリート片が落下した。調査したところ1階女子トイレ、2階男女トイレの天井にコンクリートの剥離が見られた。緊急工事を行い復旧したが、トイレ床からの漏水もあり鉄筋やコンクリートの劣化も進んでいくため改修工事を行い、改善を行うとともに洋式化工事も行う。					対象	学校施設のトイレ			
						手段	トイレ改修工事			
						意図	児童生徒の安全確保と施設の延命化			

事業期間	R3	年度	～	R4	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R2(決算額)			R3(決算額)			R4(決算額)			R5(予算額)
支出内訳				実施設計業務	3,014千円		工事請負費	39,688千円		
	合 計				3,014千円			39,688千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金							10,436千円		
	県支出金									
	地方債				2,200千円			27,000千円		
	その他									
	一般財源				814千円			2,252千円		
	合 計				3,014千円			39,688千円		
人工数	人件費			0.21人	1,215千円		0.46人	2,088千円		
総経費			千円		4,229千円			41,776千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R2	R3	R4	R5
1	トイレ改修工事	活動		設計 完了 100.00%	工事 完了 100.00%	
2						
3						

成果	天井、床を含めたトイレの全面改修を行い、安心安全なトイレに改修することができた。合わせて乾式床、全て洋式トイレを設置することで生徒の快適な教育環境に寄与できた。					
R6年度に向けた課題及び改善策						
目標達成度	A	R6年度に向けた方向性				
		成果	完了	完了年度	R4	
特記事項						

R4年度 事務事業評価シート				205	課・局・室・所(係)	教育総務課	学校施設係	事務事業番号	226020513
施策体系	大項目(章)				中項目(基本施策)			小項目(基本事業)	
	5	教育・文化・スポーツ			26	学校教育の推進		2	教育環境の向上
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
	5	学校施設整備事業	13	高千帆小学校校舎整備事業			2－(2)		政策的
事業概要	高千帆小学校の校舎は平成16年に現在の管理棟が完成し、令和元年度は普通教室19教室と特別支援学級5教室で運営を行っている。高千帆小学校の児童数は令和7年にかけて現在の617人から698人への増加が見込まれており、このままでは令和5年度からの学級数に対応できず学校運営が出来なくなるため新校舎を建設する。					対象	高千帆小学校の施設		
						手段	高千帆小学校の校舎を建設する		
						意図	良好な教育環境を維持する		

事業期間	R1以前	年度	～	R5	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R2(決算額)		R3(決算額)		R4(決算額)		R5(予算額)			
支出内訳	実施設計業務委託料	12,705千円	工事請負費(建築主体		工事請負費費(建築主体等)	380,900千円				
	地質調査業務委託料	9,603千円	・機械設備工事等)	253,669千円	工事請負費(電気設備工事)	31,748千円				
	家屋調査委託料	2,530千円	工事請負費(電気設備工事)	17,100千円	工事請負費(その他)	5,685千円	家屋調査委託料(事後)	3,988千円		
	手数料	619千円	設計意図伝達業務委託	1,600千円	設計意図伝達業務委託	3,900千円				
	工事請負費	219千円	補償金	249千円	工事監理業務委託	8,250千円				
			消耗品費	87千円	備品購入費	2,806千円				
					その他(水道加入金等)	1,460千円				
合 計		25,676千円		272,705千円		434,749千円				3,988千円
財源内訳／割合	国庫支出金		1/2,2/3	54,232千円	1/2,2/3	114,141千円				
	県支出金		1/6	3,820千円	1/6	5,812千円				
	地方債	75%,80%	90%,75%,80%	169,900千円	90%,75%,80%	233,800千円				
	その他		水道料金	316千円	水道料金	55千円				
	一般財源	11,276千円		44,437千円		80,941千円				3,988千円
	合 計	25,676千円		272,705千円		434,749千円				3,988千円
人工数	人件費	0.78人	4,523千円	1.10人	6,362千円	1.05人	6,020千円			
総経費		30,199千円		279,067千円		440,769千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標				R2	R3	R4	R5
1	高千帆小学校校舎建設	活動		設計	工事	工事	
				完了	工事中	完了	
				100.00%	-	100.00%	
2	事後家屋調査						調査
3							

成果	令和4年まで少人数教室、図工室、特別支援教室を普通教室に転用し教室不足に対応してきた。令和4年度末に新校舎が完成したことにより教室不足が解消し、児童が安心して学校生活を送ることができ、良好な教育環境を確保することができた。					
R6年度に向けた課題及び改善策						
目標達成度	A	R6年度に向けた方向性				
		成果	完了	完了年度	R5	
特記事項						

R4年度 事務事業評価シート

206 課・局・室・所(係) 教育総務課 学校施設係 事務事業番号 226020516

施策体系	大項目(章)			中項目(基本施策)			小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ		26	学校教育の推進		2	教育環境の向上	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
	5	学校施設整備事業	16	竜王中学校階段昇降機設置事業					政策的
事業概要	令和4年度より竜王中学校に身体不自由な生徒が入学する。竜王中学校の管理特別教室棟1階に特別支援学級、多目的トイレがあるが、音楽室、図書室などの特別教室は管理特別教室棟2階にあり、生徒一人では階段を昇降することが困難なため階段昇降機をレンタルする。(令和6年度まで)					対象	階段の昇降が困難な生徒		
						手段	階段昇降機をレンタルする		
						意図	階段を安全に昇降させ、介助者の負担も軽減させる		

事業期間	R4 年度	～	R6 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R2(決算額)		R3(決算額)		R4(決算額)		R5(予算額)	
支出内訳			【12月補正】		機械器具借上料	550千円	機械器具借上料	624千円
			工事請負費	1,757千円	消耗品費	2千円		
合計				1,757千円		552千円		624千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源			1,757千円		552千円		624千円
	合計			1,757千円		552千円		624千円
人工数 人件費			0.10人	578千円	0.02人	115千円		
総経費		千円		2,335千円		667千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R2	R3	R4	R5
1	階段昇降機レンタル	活動			1台	1台
					1台	
					100.00%	
2						
3						

成果	令和4年度からの生徒の入学に合わせ、校舎間の段差解消工事や、管理特別教室棟を昇降する際の階段昇降機を準備することができ、当該生徒が安心して学校生活を送れるようにできた。					
R6年度に向けた課題及び改善策	今後、身体不自由な児童生徒の入学が見込まれる際は、学校等と連携し早めに情報を得て施設の改修等を行う必要がある。					
目標達成度	A	R6年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項						

R4年度 事務事業評価シート				207	課・局・室・所(係)	教育総務課	学校施設係	事務事業番号	226020517
施策体系	大項目(章)				中項目(基本施策)			小項目(基本事業)	
	5	教育・文化・スポーツ			26	学校教育の推進		2	教育環境の向上
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
	5	学校施設整備事業	17	学校施設改修事業(臨時)					政策的
事業概要	学校施設の多くは老朽化が進み、不具合が発生している。不具合の発生した箇所が改修が必要な場合、緊急度に応じて計画的に工事を行う。また、学校等の要望により施設の解体や新設等を行う必要がある場合も計画的に工事を行う。					対象	改修が必要な箇所等		
						手段	改修工事を行う		
						意図	児童生徒の安全確保、利便性向上と施設の延命化		

事業期間	R4年度	～	R9以降年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R2(決算額)		R3(決算額)		R4(決算額)		R5(予算額)	
支出内訳					工事請負費		工事請負費	
					厚狭小 給水管(第2校舎)	2,178千円	木山小 屋根改修(管理特別棟)	1,298千円
							厚狭小中 職員室等エアコン室外機補修	1,454千円
合計						2,178千円		2,752千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他						損害保険金	649千円
	一般財源					2,178千円		2,103千円
	合計					2,178千円		2,752千円
人工数 人件費					0.05人	287千円		
総経費		千円		千円		2,465千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標				R2	R3	R4	R5
1	不具合の発生した箇所の改修等	活動				1か所	2か所
						1か所	
						100.00%	
2							
3							

成果	令和4年度は厚狭小学校第2校舎の漏水が発生していた給水管を更新し、児童が安心して学校生活を送れるようにすることができた。					
R6年度に向けた課題及び改善策	市内の学校施設が老朽化しており、修繕や改修箇所が増加しているため計画的に修繕・改修を行う必要がある。					
目標達成度	A	R6年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項						

R4年度 事務事業評価シート				208	課・局・室・所(係)	教育総務課	学校施設係	事務事業番号	226020519
施策体系	大項目(章)				中項目(基本施策)			小項目(基本事業)	
	5	教育・文化・スポーツ			26	学校教育の推進		2	教育環境の向上
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
	5	学校施設整備事業	19	屋内運動場長寿命化改修事業					政策的
事業概要	昭和40年代から50年代にかけて集中的に整備された本市の学校施設は、今後10年から20年間に一斉に更新時期を迎え、改修や維持管理等に多額の経費を要することが想定されます。また社会情勢の変化に伴い、教育内容・方法の多様化、防災機能の向上など学校施設に対するニーズが大きく変化しており、これらに対応した学校施設の整備が求められています。このことにより中長期的な維持管理に係るコストの縮減及び平準化を図るとともに学校施設に求められる機能・性能を確保するために「山陽小野田市学校施設整備計画」に基づき屋内運動場の長寿命化改修を行います。					対象	屋内運動場		
						手段	屋根、外壁、内部改修工事等の長寿命化改修		
						意図	児童生徒の安全確保、建物の延命化		

事業期間	R4年度	～	R9以降年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R2(決算額)		R3(決算額)		R4(決算額)		R5(予算額)	
支出内訳					実施設計委託費		実施設計委託費	
					・高千帆小学校(外壁改修)	2,420千円	・本山小学校(長寿命化)	5,000千円
							工事請負費	
							・高千帆小学校(外壁改修工事)	41,000千円
合計						2,420千円		46,000千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金							11,733千円
	県支出金							
	地方債				75%	1,800千円	75%	25,400千円
	その他							
	一般財源					620千円		8,867千円
	合計					2,420千円		46,000千円
人工数	人件費				0.02人	115千円		
総経費		千円		千円		2,535千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標				R2	R3	R4	R5
1	実施設計する棟数	活動				1棟	1棟
						1棟	
						100.00%	
2	工事する棟数	活動					1棟
3							

成果	令和2年度策定した「学校施設整備計画」に基づき令和4年度は外壁に落下や剥離がみられた緊急度の高い高千帆小学校屋内運動場外壁改修工事の実施設計業務を完了することができた。					
R6年度に向けた課題及び改善策	今後「学校施設整備計画」に基づき、各学校施設の老朽度を考慮しながら、優先順位を検討し計画的に学校施設の長寿命化を図っていく必要がある。成果・コストは施設の優先順位を市長部局と検討を行い、計画していく。					
目標達成度	A	R6年度に向けた方向性				
		成果	拡充	コスト	拡大	
特記事項						

R4年度 事務事業評価シート

209

課・局・室・所(係)

教育総務課

事務事業番号

226020701

施策体系	大項目(章)			中項目(基本施策)			小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ		26	学校教育の推進		2	教育環境の向上	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	7	学校適正規模・適正配置事業	1	埴生小学校スクールバス運行事業					政策的
	令和3年度末で津布田小学校は閉校し、津布田小学校児童はスクールバスを利用して埴生小・中学校に通学することとなる。スクールバスの運行における必要経費について計上する。					対象	埴生小・中学校及び旧津布田小学校児童		
						手段	統合後の交通手段を確保する		
						意図	児童の通学の安全を確保する		

事業期間	R3	年度	～	R9以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R2(決算額)			R3(決算額)			R4(決算額)			R5(予算額)
支出内訳							燃料費	253千円	燃料費	377千円
							通信運搬費	35千円	保険料	100千円
							委託料	2,104千円	通信運搬費	48千円
							使用料及び賃借料	3,960千円	委託料	2,598千円
									使用料及び賃借料	2,857千円
									安全運転管理者協議会負担金	15千円
									手数料	1千円
合計								6,352千円		5,996千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									
	一般財源							6,352千円		5,996千円
合計								6,352千円		5,996千円
人工数	人件費						0.4人	2,293千円		
総経費			千円			千円		8,645千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R2	R3	R4	R5
1	スクールバスの整備	活動			完了 一部未了	
2						
3						

成果	令和4年4月からスクールバスを運行し、旧津布田小学校児童を埴生小学校へ安全に通学させることができた。バスの車体については、当初はレンタカーを利用し、令和4年度中にリース車へ切り替える予定としていたが、半導体や部品の不足、車の生産停止といった様々な要因により、リース車への切り替えは令和5年度にすることとなった。					
R6年度に向けた課題及び改善策	引き続き安全運行に努めていく。					
目標達成度	B	R6年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項	令和3年度は「津布田小学校統合事業」					

R4年度 事務事業評価シート				210	課・局・室・所(係)	学校給食センター	管理係	事務事業番号	226020902
施策体系	大項目(章)				中項目(基本施策)			小項目(基本事業)	
	5	教育・文化・スポーツ			26	学校教育の推進		2	教育環境の向上
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
	9	学校給食事業	2	学校給食費管理事業					行政内部 管理
事業概要	令和2年度に学校給食管理システム構築等の導入作業を行い、令和3年度から学校給食費を公会計し、市が管理・徴収業務などを行う。					対象	児童生徒の保護者		
						手段	学校給食費会計の管理		
						意図	教員の負担軽減と学校給食費会計の透明性の向上		

事業期間	R2	年度	～	R9以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R2(決算額)			R3(決算額)			R4(決算額)			R5(予算額)
支出内訳	消耗品費、印刷製本費	585千円		消耗品費、印刷製本費	221千円		消耗品費、印刷製本費	393千円		消耗品費、印刷製本費 482千円
				通信運搬費、手数料	1,583千円		通信運搬費、手数料	1,699千円		通信運搬費、手数料 2,338千円
				学校給食費管理システムサービス保守委託料	462千円		電算保守委託料	462千円		電算保守委託料 462千円
				クラウドサービス導入等賃借・利用料	1,584千円		機械器具借上料	924千円		機械器具借上料 924千円
				賄材料費	251,936千円		システム利用料	660千円		システム利用料 660千円
							賄材料費	242,985千円		賄材料費 261,403千円
	合 計		585千円		255,786千円			247,123千円		266,269千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他			雑入	248,710千円	雑入	239,513千円	雑入	259,092千円	
	一般財源	585千円			7,076千円		7,610千円		7,177千円	
	合 計		585千円		255,786千円		247,123千円		266,269千円	
人工数	人件費			1.20人	6,940千円	1.05人	6,020千円			
総経費		585千円			262,726千円		253,143千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標				R2	R3	R4	R5
1	学校給食費の収納率	成果			100%	100%	100%
					98.9%	98.35%	
					98.90%	98.35%	
2							
3							

成果	教職員の負担軽減や学校給食費の透明性の向上につながった。また、口座振替取り扱い金融機関が増え、コンビニ納付や電子決済など、保護者の利便性が向上した。					
R6年度に向けた課題及び改善策	学校給食費の見直しについて、学校給食センター運営委員会に諮り検討を行う。未納者については、電話連絡や催告書を送付するなどで対応しているが、電話のつかない保護者に対しては、家へ訪問や法的な措置を検討する。					
目標達成度	B	R6年度に向けた方向性				
		成果	拡充	コスト	拡大	
特記事項						

R4年度 事務事業評価シート

211

課・局・室・所(係)

学校教育課

学務係

事務事業番号

226020907

施策体系	大項目(章)			中項目(基本施策)			小項目(基本事業)				
	5	教育・文化・スポーツ			26	学校教育の推進		2	教育環境の向上		
	実施計画名			事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分	
	9	学校給食事業		7	学校給食実施事業(物価高騰分)					行政内部 管理	
事業概要	社会情勢や円安の影響により食品食材の物価が高騰している。そのため学校給食(幼稚園)の提供にも支障が出る可能性が高いため、学校給食食材の物価高騰相当額について増額補正を行うことにより、給食の適切な実施を図る。						対象	埴生幼稚園 園児の保護者			
							手段	物価高騰分の補てん			
							意図	保護者の負担軽減			

事業期間	R4 年度	～	R6 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R2(決算額)		R3(決算額)		R4(決算額)		R5(予算額)	
支出内訳					賄材料費	8千円	賄材料費	85千円
合計						8千円		85千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金						10/10	85千円
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源					8千円		
	合計					8千円		85千円
人工数 人件費					0.05人	287千円		
総経費		千円		千円		295千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R2	R3	R4	R5
1	学校給食提供数(R4:3学期) 埴生幼稚園	活動			735食 735食 100.00%	5,000食
2						
3						

成果	食材の物価高騰相当額について増額補正を行うことにより、安定的に給食の適切な実施を図れた。					
R6年度に向けた課題及び改善策	令和5年度についても、従来の給食費では維持できない状況が見込まれるため、値上げ分を公費で負担する対応を取っているが、更なる物価高騰や長期化が懸念される。今後の状況によっては、給食費の値上げを検討する必要がある。					
目標達成度	A	R6年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項						

R4年度 事務事業評価シート

212

課・局・室・所(係)

学校教育課

学務係

事務事業番号

226021105

施策体系	大項目(章)			中項目(基本施策)			小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ		26	学校教育の推進		2	教育環境の向上	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	11	学校教育振興事業	5	幼稚園教育振興事業(単独)					政策的
	教育基本法、学校教育法、幼稚園教育要領に基づき、埴生幼稚園に通う園児が幼児教育を受けるために必要な教材や図書等を整備し、教育の振興を図る。 寄附金を図書購入費及び教育関連経費に充てる。					対象	埴生幼稚園児		
						手段	教材や図書の整備を行う。		
						意図	教育環境を整備し、適切な幼児教育を行う。		

事業期間	R4 年度	～	R6 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R2(決算額)		R3(決算額)		R4(決算額)		R5(予算額)	
支出内訳					図書購入費	32千円	図書購入費	25千円
					園用器具費	52千円		
合 計						84千円		25千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他				教育費寄附金	84千円	ふるさと支援基金	25千円
	一般財源							
	合 計					84千円		25千円
人工数 人件費					0.05人	287千円		
総経費		千円		千円		371千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R2	R3	R4	R5
1	教育環境の整備園数	活動			1園 1園 100.00%	1園
2						
3						

成果	寄附の趣意に基づき、埴生幼稚園に図書を整備及び教育関連経費として備品を整備した。					
R6年度に向けた課題及び改善策	寄附の趣意に基づき、埴生幼稚園に図書を整備する。					
目標達成度	A	R6年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項						

R4年度 事務事業評価シート				213	課・局・室・所(係)	学校教育課	学務係	事務事業番号	226021209	
施策体系	大項目(章)				中項目(基本施策)			小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ			26	学校教育の推進		2	教育環境の向上	
	実施計画名			事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
	12	学校ICT環境整備事業		9	GIGAスクール推進事業			2ー(2)	デジタル化	
事業概要	児童生徒に1人1台ずつ整備したタブレット端末を活用して、効果的な授業ができるようICT支援員を配置し、学校からの質問や機器の故障に対応可能な環境を整えます。また、学校及びWi-Fi環境のない家庭のインターネットにかかる通信料を負担する。 あわせて、タブレット端末のフィルタリングソフトを強化することで、有害サイトへのアクセスが制限されるとともに、情報モラル教育を推進し、安心した教育環境整備を図る。						対象	小・中学校		
							手段	ICT支援員の配置、運営支援体制の整備、フィルタリングソフトを設定等		
							意図	学校が端末を活用した授業ができる環境を整える。		

事業期間		R1以前 年度 ～ R9以降 年度		予算種別	継続	臨時	会計種別	一般	
		R2(決算額)		R3(決算額)		R4(決算額)		R5(予算額)	
支出内訳		工事委託料	119,014千円	通信運搬費	23,125千円	通信運搬費	23,902千円	通信運搬費	20,871千円
		機械器具費	348,555千円	人材派遣委託料	6,765千円	手数料	113千円	システム保守委託料	657千円
		通信運搬費	4,972千円	システム保守委託料	263千円	人材派遣委託料	15,067千円	人材派遣委託料	14,935千円
		GIGAスクールサポーター委託料	2,448千円	電算委託料	1,484千円	システム保守委託料	438千円	修繕料	1,000千円
		消耗品費	760千円	修繕料	162千円	機械器具費	2,751千円	機械器具費	4,620千円
						ソフトウェアライセンス料	23,701千円		
						工事委託料	1,485千円		
	合 計		475,749千円		31,799千円		67,457千円		42,083千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金	1/2,10/10	329,775千円	1/2	3,382千円	1/2,1/3,10/10	57,296千円	1/2	2,783千円
	県支出金								
	地方債	100%	63,200千円						
	その他								
	一般財源		82,774千円		28,417千円		10,161千円		39,300千円
	合 計		475,749千円		31,799千円		67,457千円		42,083千円
人工数	人件費	0.55人	3,181千円	0.55人	3,181千円	0.70人	4,013千円		
総経費			478,930千円		34,980千円		71,470千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標				R2	R3	R4	R5
1	ICT支援員配置人数	活動		1名	2名	2名	2名
				1名	2名	2名	
				100.00%	100.00%	100.00%	
2	週3回以上クラウドを利用した家庭学習を行う児童生徒の割合 (アンケートは3学期に実施)	成果				50%	70%
						36.4%	
						72.80%	
3							

成果	Wi-Fi環境のない家庭にモバイルルーターを貸し付けることで、新型コロナウイルス感染症拡大防止による出席停止の児童生徒に対しても、オンラインでつながり、学びを保障することができた。 また、フィルタリングソフトを強化することで、有害サイトや有害情報へのアクセスを防ぐこと等が可能となり、有害サイトや有害情報へのアクセスやチャットを使った子ども同士のトラブルを未然に防止する教育環境を整備した。					
R6年度に向けた課題及び改善策	端末の活用が日常化することで、破損等への対応増加が見込まれる。また、ICT支援員の継続的な配置や、1人1台端末の活用拡充、生成AIの学校現場の利用に向けた対応と進め方等の検討が必要である。文科省では、今後1人1台端末を用いる試験の導入等に向けて、大容量の通信の発生が想定されることから、各自治体に通信ネットワークの円滑な運用確保に係る対応の実施を推奨しているため、その影響を踏まえた対応が必要となる。					
目標達成度	B	R6年度に向けた方向性				
		成果	拡充	コスト	現状維持	
特記事項	令和3年度からの繰越明許額 【歳入・歳出:繰越明許費 1,485千円】					

R4年度 事務事業評価シート				214	課・局・室・所(係)	学校教育課	学務係	事務事業番号	226021210	
施策体系	大項目(章)				中項目(基本施策)			小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ			26	学校教育の推進		2	教育環境の向上	
	実施計画名			事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
	12	学校ICT環境整備事業		10	学校図書システム更新事業				デジタル化	
事業概要	学校図書システムの老地化に伴い、機器の更新を行います。併せて、図書館の図書システムの統合を進めることで、学校にない本を図書館や他校から借りることを可能とするなど、学校図書館機能を充実・拡大させ、児童生徒の豊かな読書環境づくりを推進します。					対象	小・中学校図書館			
						手段	図書システムの機器の更新			
						意図	図書システムの安定運用			

事業期間	R4 年度	～	R9以降 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R2(決算額)		R3(決算額)		R4(決算額)		R5(予算額)	
支出内訳					機械器具借上料	924千円	機械器具借上料	2,772千円
					システム利用料	826千円	システム利用料	2,478千円
					ネットワーク回収			
					委託料	484千円		
					システム改修			
					委託料	286千円		
	合 計					2,520千円		5,250千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金				1/2	1,260千円		
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源					1,260千円		5,250千円
	合 計					2,520千円		5,250千円
人工数 人件費					0.20人	1,147千円		
総経費		千円		千円		3,667千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R2	R3	R4	R5
1	学校図書館システム設置校 (松原分校含む)	活動			18校	18校
					18校	
					100.00%	
2	小学生1人当たりの年間貸出冊数 (目標値の基準:週1冊以上×50週)	成果			52冊	54冊
					45冊	
					86.54%	
3	中学生1人当たりの年間貸出冊数 (目標値の基準:月1冊×10か月)	成果			10冊	10冊
					6.3冊	
					63.00%	

成果	学校図書館システムの更新により、学校図書館と公立図書館のシステムを統合し、「学校・図書館をオンラインで結ぶ”どこでも学校図書館”」を機能させるための読書環境が整備された。貸出カードを一元化することで、電子図書館の資料も1人1台端末からの貸出が可能となった。また、オンラインで予約した書籍の、学校と公立図書館の配送・回収システムを整備した。					
R6年度に向けた課題及び改善策	今後は、学校図書館と公立図書館で連携した選書を行い、ニーズに応じた図書を幅広く蔵書する等、有効的な情報の共有・活用を進めていく。また、学校司書と図書館司書との合同研修会を実施することで、相互に情報を提供しあい、よりよい連携をさぐっていく。本システムをより有効に活用するためには、システムの利用に慣れていく必要がある。そのためICT担当者も含め、学校現場での課題を取り上げ改善に取り組み、読書活動の推進を図る。					
目標達成度	B	R6年度に向けた方向性				
		成果	拡充	コスト	現状維持	
特記事項						

R4年度 事務事業評価シート

216

課・局・室・所(係)

学校教育課

学務係

事務事業番号

226021213

施策体系	大項目(章)				中項目(基本施策)				小項目(基本事業)				
	5	教育・文化・スポーツ				26	学校教育の推進			2	教育環境の向上		
	実施計画名				事務事業名				重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分	
	12	学校ICT環境整備事業				13	授業目的公衆送信補償金制度実施事業						
事業概要	授業で使用する資料を児童生徒にネット送信する場合は、令和3年度以降一般社団法人授業目的公衆送信補償金等管理協会(SARTRAS)に支払うことで、教科書等の様々な資料を円滑に使用することができる。この制度を活用することで、著作権にかかる資料を授業に活用できる。								対象	市内小・中学校			
									手段	指定管理団体(SARTRAS)に補償金を支払う。			
									意図	ICTを活用した授業を行える環境を整える。			

事業期間	R3	年度	～	R9以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R2(決算額)			R3(決算額)			R4(決算額)			R5(予算額)
支出内訳				補償金	526千円		補償金	692千円	補償金	701千円
合計						526千円			692千円	701千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									
	一般財源				526千円			692千円		701千円
	合計					526千円			692千円	701千円
人工数	人件費			0.01人	58千円		0.01人	57千円		
総経費			千円			584千円			749千円	

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R2	R3	R4	R5
1	対象小学校児童数	活動		3,155人	3,118人	3,029人
				3,155人	3,118人	
				100.00%	100.00%	
2	対象中学校生徒数	活動		1,560人	1,506人	1,458人
				1,560人	1,506人	
				100.00%	100.00%	
3						

成果	授業目的公衆送信補償金制度実施事業を活用し、オンライン授業で教科書等の様々な資料を円滑に使用することができた。					
R6年度に向けた課題及び改善策						
目標達成度	A	R6年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項	令和5年度以降「経常経費」で予算計上					

R4年度 事務事業評価シート

217

課・局・室・所(係)

学校教育課

学務係

事務事業番号

226021214

施策体系	大項目(章)			中項目(基本施策)			小項目(基本事業)					
	5	教育・文化・スポーツ			26	学校教育の推進			2	教育環境の向上		
	実施計画名			事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分		
	12	学校ICT環境整備事業			14	教育系サーバー更新事業						政策的
事業概要	教育系システムサーバー群(ADサーバー、グループウェアサーバー、ファイルサーバー、ウイルス対策用サーバー、クライアント運用管理サーバー等)のOSサポート期限が令和5年1月に到来するためシステム更新を行う。 更新のタイミングに併せ、サーバーを仮想化し、統合することにより、コストダウンを図る。また、サーバーを冗長化することにより、システムの安定稼働を図る。 【6月補正】令和4年3月の文部科学省「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」の改訂に従い、インターネット分離を行います。教育系サーバー更新事業と同時に実施することでコストダウンを図ります。 【9月補正】世界的な半導体不足により年度内の事業実施が困難であるため、全額減額し、債務負担行為を設定し、延長されたOSサポート期限までに事業を実施しシステムの安定稼働を図ります。						対象	小・中学校、給食センター、図書館				
							手段	情報管理課に新しいサーバを設置する。				
							意図	サーバを更新して、教育系システム、ネットワークの安定稼働を図る。				

事業期間	R4年度	～	R9以降年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R2(決算額)		R3(決算額)		R4(決算額)		R5(予算額)	
支出内訳					システム保守		システム保守	660千円
					委託料		委託料	
					電算委託料		電算委託料	5,049千円
					ネットワーク改修		ネットワーク改修	2,718千円
					委託料		委託料	
					機械器具借上料		機械器具借上料	11,814千円
合計								20,241千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源							20,241千円
	合計							20,241千円
人工数 人件費								
総経費		千円		千円		千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標				R2	R3	R4	R5
1	サーバー更新	活動				契約	更新・運用
						契約	
						100.00%	
2							
3							

成果						
R6年度に向けた課題及び改善策						
目標達成度	A	R6年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項	債務負担行為を設定:期間R4～R10					

R4年度 事務事業評価シート				218	課・局・室・所(係)	学校教育課	学務係	事務事業番号	226021301
施策体系	大項目(章)				中項目(基本施策)			小項目(基本事業)	
	5	教育・文化・スポーツ			26	学校教育の推進		2	教育環境の向上
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	13	特別支援教育支援事業	1	特別支援教育支援員配置事業					政策的
	特別な支援が必要な小・中学生が在籍し、担任だけでは対応しきれない状況にある学級で、学習支援を行うとともに、学級運営を安定化させるため、特別支援教育支援員を配置する。					対象	特別な支援が必要な児童生徒が在籍している学級		
						手段	特別支援教育支援員の配置		
						意図	適切な学級運営の確保		

事業期間	R1以前	年度	～	R9以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R2(決算額)			R3(決算額)			R4(決算額)			R5(予算額)
支出内訳	保険料	130千円		保険料	126千円		保険料	134千円		145千円
	特別支援教育支	7,726千円		特別支援教育支	7,714千円		特別支援教育支	8,078千円		8,611千円
	援員業務委託料			援員業務委託料			援員業務委託料			
	合 計	7,856千円		7,840千円			8,212千円			8,756千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									
	一般財源	7,856千円		7,840千円			8,212千円			8,756千円
	合 計	7,856千円		7,840千円			8,212千円			8,756千円
人工数	人件費	0.15人	870千円	0.15人	870千円		0.15人	860千円		
総経費		8,726千円		8,710千円			9,072千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標				R2	R3	R4	R5
1	特別支援教育支援員の配置人数	活動		20人	20人	20人	20人
				18人	21人	25人	
				90.00%	105.00%	125.00%	
2							
3							

成果	特別支援員の配置により、特別な支援を必要とする児童生徒に対して合理的配慮を行うことができ、当該児童生徒ばかりでなく学校全体の教育活動の充実につながった。					
R6年度に向けた課題及び改善策	特別な支援を必要とする児童生徒が増えており、障害者差別防止法により義務付けられた合理的配慮を実施するために、特別支援教育支援員のニーズは高まり、拡充が必要である。					
目標達成度	A	R6年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項						

R4年度 事務事業評価シート

219

課・局・室・所(係)

学校教育課

学務係

事務事業番号

226021302

施策体系	大項目(章)			中項目(基本施策)			小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ		26	学校教育の推進		2	教育環境の向上	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	13	特別支援教育支援事業	2	特別支援補助教員配置事業					政策的
	障害の程度が重い児童・生徒が多く通学する松原分校で、学習支援を行うとともに、学級運営を安定化させるため、特別支援補助教員を配置する。					対象	松原分校小学部・中学部		
						手段	補助教員の配置		
						意図	適切な学級運営の確保		

事業期間		R1以前 年度 ～ R9以降 年度		予算種別	継続	臨時	会計種別	一般	
		R2(決算額)		R3(決算額)		R4(決算額)		R5(予算額)	
支出内訳		保険料	7千円	保険料	6千円	保険料	6千円	保険料	7千円
		特別支援補助	1,158千円	特別支援補助	1,151千円	特別支援補助	1,151千円	特別支援補助	1,204千円
		業務委託料		業務委託料		業務委託料		業務委託料	
	合 計		1,165千円		1,157千円		1,157千円		1,211千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金								
	県支出金								
	地方債								
	その他								
	一般財源		1,165千円		1,157千円		1,157千円		1,211千円
	合 計		1,165千円		1,157千円		1,157千円		1,211千円
人工数	人件費	0.15人	870千円	0.15人	870千円	0.15人	860千円		
総経費			2,035千円		2,027千円		2,017千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R2	R3	R4	R5
1	特別支援補助教員の配置人数	活動	1人	1人	1人	1人
			1人	1人	1人	
			100.00%	100.00%	100.00%	
2						
3						

成果	松原分校には様々な障害のある児童生徒が通学しており、担任の教員だけでは十分に支援できないことについて、特別支援補助教員が児童生徒の安全確保や個別の支援に対応することができた。					
R6年度に向けた課題及び改善策	障害者差別解消法に基づく合理的配慮を行うため、特別支援補助教員の配置は引き続き必要である。					
目標達成度	A	R6年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項						

R4年度 事務事業評価シート				220	課・局・室・所(係)	学校教育課	学務係	事務事業番号	226021402
施策体系	大項目(章)				中項目(基本施策)			小項目(基本事業)	
	5	教育・文化・スポーツ			26	学校教育の推進		2	教育環境の向上
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
	14	教職員の資質向上事業	2	外国語教育推進事業			2－(2)		政策的
事業概要	ALT(外国語指導助手)を小・中学校に派遣し、教員と連携した授業を実施して英語教育の充実を図っている。学習指導要領が改訂されるため、平成30年度から、小学校5・6年生の「外国語」と、3・4年生の「外国語活動」の試行を始めた。令和2年度の本格実施を見据え、必要なALTを確保するため、令和元年度からALTを3人から5人に増員し、かつ処遇改善を図った。					対象	市内小・中学校児童生徒		
						手段	ALTを公募により採用し、学校に派遣する。		
						意図	ALTと触れ合うことで、外国語に親しむ。		

事業期間		R1以前 年度 ～ R9以降 年度		予算種別	継続	臨時	会計種別	一般	
		R2(決算額)		R3(決算額)		R4(決算額)		R5(予算額)	
支出内訳		会計年度任用職	15,000千円	会計年度任用職	15,000千円	会計年度任用職	13,135千円	会計年度任用職	12,000千円
		員報酬		員報酬		員報酬		員報酬	
		社会保険料等	2,414千円	社会保険料等	2,382千円	社会保険料等	2,095千円	社会保険料等	1,795千円
								システム利用料	4,421千円
	合 計		17,414千円		17,382千円		15,230千円		18,216千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金								
	県支出金								
	地方債								
	その他								
	一般財源		17,414千円		17,382千円		15,230千円		18,216千円
	合 計		17,414千円		17,382千円		15,230千円		18,216千円
人工数 人件費		0.05人	290千円	0.10人	578千円	0.10人	573千円		
総経費			17,704千円		17,960千円		15,803千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標				R2	R3	R4	R5
1	ALT派遣日数	活動		750日	750日	750日	750日
				740日	728日	648日	
				98.67%	97.07%	86.40%	
2	アンケートで「あなたは外国語活動の勉強は大切だと思いますか」との問いに、「そう思う」と回答した児童の割合(小学校6年生)	成果		—	80%	80%	80%
				—	89%	79.1%	
				—	111.25%	98.88%	
3	アンケートで「あなたは英語の授業の内容を理解していると思いますか」との問いに、「理解している」「どちらかといえば理解している」と回答した生徒の割合(中学校3年生)	成果		—	80%	80%	80%
				—	79%	57.5%	
				—	98.75%	71.88	

成果	調査によると小学校2年生でALTの先生と一緒に学習することが、英語を話したり聞いたり伝え合ったりすることに役立っていると思いますか」と肯定的に回答した児童は約79%、中学校2年生で肯定的に回答した生徒は約57%であり、ALTの派遣日数の減少と比例しR3年度より肯定的な回答が減少している。ALTの派遣を安定的に稼働し、児童・生徒とALTの関わりの充実に努める。					
R6年度に向けた課題及び改善策	学習指導要領の改訂により、小学校3年生から外国語の学習を始めるため、授業においてネイティブスピーカーを活用したチームティーチングを行い、学級担任をサポートしていくことが求められる。 中学校では、TerraTalkアプリを活用した授業を行っており、家庭においても主体的に単語練習や音読練習等に取り組むことで、家庭学習と連携した学習サイクルが働いており、ICTの活用により新たな授業デザインに取り組む。					
目標達成度	B	R6年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項						

R4年度 事務事業評価シート				221	課・局・室・所(係)	学校教育課	学務係	事務事業番号	226021403	
施策体系	大項目(章)				中項目(基本施策)			小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ			26	学校教育の推進		2	教育環境の向上	
	実施計画名			事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
	14	教職員の資質向上事業		3	学校司書配置事業		2ー(2)			政策的
事業概要	全ての小・中学校に学校司書を配置して、学校における読書活動を推進している。読書の機会の充実による読書活動の推進や授業での学校図書館の活用促進を行うとともに、学校図書館担当教員等の資質向上を図る。					対象	市内小・中学校児童生徒、教員			
						手段	司書資格又は教員免許を有する人を任用して、小・中学校に配置する。			
						意図	読書習慣の定着、授業での図書の活用、学校間の図書の相互利用の推進			

事業期間		R1以前 年度 ～ R9以降 年度		予算種別	継続	臨時	会計種別	一般	
		R2(決算額)		R3(決算額)		R4(決算額)		R5(予算額)	
支出内訳		会計年度任用職	25,953千円	会計年度任用職	26,537千円	会計年度任用職	27,296千円	会計年度任用職	27,593千円
		員給料諸手当		員給料諸手当		員給料諸手当		員給料諸手当	
		社会保険料等	4,706千円	社会保険料等	5,475千円	社会保険料等	7,119千円	社会保険料等	7,851千円
	合 計		30,659千円		32,012千円		34,415千円		35,444千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金								
	県支出金								
	地方債								
	その他								
	一般財源		30,659千円		32,012千円		34,415千円		35,444千円
	合 計		30,659千円		32,012千円		34,415千円		35,444千円
人工数	人件費	0.15人	868千円	0.15人	868千円	0.15人	860千円		
総経費			31,527千円		32,880千円		35,275千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標				R2	R3	R4	R5
1	学校司書配置校数	活動		18校	18校	17校	17校
				18校	18校	17校	
				100.00%	100.00%	100.00%	
2	小学校における年間貸出し冊数 (目標値の基準:週1冊以上×50週)	成果		50冊	50冊	50冊	50冊
				41冊	51.9冊	53冊	
				82.00%	103.80%	106.00%	
3	中学校における年間貸出し冊数 (目標値の基準:月1冊×10か月)	成果		10冊	10冊	10冊	12冊
				5.4冊	6.3冊	7冊	
				54.00%	63.00%	70.00%	

成果	1人が2校を兼務する体制を維持(現状11人)しながら、全ての小・中学校に学校司書を配置。全校配置により、学校司書の専門的な知識・経験に基づき、授業に関連する図書の展示をする等、学校図書館が整備され、読書環境が整うことで児童生徒の読書習慣も定着してきた。更に、読み聞かせや授業支援の活動により、子どもと本をつなげる架け橋的役割を十分に果たしている。また、令和5年度からの中央図書館との連携準備を行った。					
R6年度に向けた課題及び改善策	国や県における計画や学習指導要領にしたがって、学校図書館を計画的に利用し、その機能の活用を図り、児童生徒の自主的、自発的読書活動を充実させ、子どもの読書習慣を定着させる必要がある。また、中央図書館との連携が始まり、公立図書館と連携した学校図書館の新たな読書環境を整えるためにも学校司書の全校配置を維持する必要がある。					
目標達成度	B	R6年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項						

R4年度 事務事業評価シート				222	課・局・室・所(係)	学校教育課	学務係	事務事業番号	226021404		
施策体系	大項目(章)				中項目(基本施策)			小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ			26	学校教育の推進		2	教育環境の向上		
	実施計画名			事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分	
	14	教職員の資質向上事業		4	教員業務支援員配置事業						政策的
事業概要	教員の働き方改革の取組として、学校業務支援員を配置し、学校の事務的業務を補助することにより、教員の長時間勤務の削減を図る。					対象	小・中学校の教員				
						手段	学校に学校業務支援員を配置して、教員が行っている事務的業務の一部を行わせる。				
						意図	教員の長時間勤務の削減				

事業期間		R1以前 年度 ～ R9以降 年度		予算種別	継続	臨時	会計種別	一般	
		R2(決算額)		R3(決算額)		R4(決算額)		R5(予算額)	
支出内訳		会計年度任用職	4,429千円	会計年度任用職	4,446千円	会計年度任用職	4,610千円	会計年度任用職	6,292千円
		員報酬等		員報酬等		員報酬等		員報酬等	
		社会保険料等	403千円	社会保険料等	556千円	社会保険料等	487千円	社会保険料等	690千円
	合 計		4,832千円		5,002千円		5,097千円		6,982千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金								
	県支出金	1/2	1,950千円	1/2	1,950千円	1/2	1,950千円	1/2	1,950千円
	地方債								
	その他								
	一般財源		2,882千円		3,052千円		3,147千円		5,032千円
	合 計		4,832千円		5,002千円		5,097千円		6,982千円
人工数	人件費	0.05人	290千円	0.06人	347千円	0.05人	287千円		
総経費			5,122千円		5,349千円		5,384千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標				R2	R3	R4	R5
1	学校業務支援員配置人数	活動		5名	5名	5名	5名
				5名	5名	5名	
				100.00%	100.00%	100.00%	
2	配置校の教員の時間外勤務時間数の削減率(平成30年度比)	成果		20%削減	20%削減	20%削減	20%削減
				3.4%削減	21.7%削減	32.9%削減	
				17.00%	108.50%	164.50%	
3							

成果	市内大規模校に教員業務支援員を配置しているが、時期によって増減率の差はあるものの、総合的に見ると勤務外時間数は削減し、目標を達成している。 業務を補助してもらえることによって生じた時間を、教育相談活動や成績処理、保護者への対応、授業準備等の業務に充てることができた。					
R6年度に向けた課題及び改善策	業務改善に向け、会議資料のペーパーレス化など、さらなる時間外勤務時間数の削減をめざす。新型コロナウイルス感染症が収束に向かっており、地域連携活動も増えつつあるが、そのため、昨年度よりも教職員の業務は増えている。多くの学校で教員業務支援員を配置したいが、予算の確保が課題。1人1台端末の有効活用によって、業務を効果的に進めていく。					
目標達成度	A	R6年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項						

R4年度 事務事業評価シート

223

課・局・室・所(係)

学校教育課

学務係

事務事業番号

226021504

施策体系	大項目(章)			中項目(基本施策)			小項目(基本事業)				
	5	教育・文化・スポーツ			26	学校教育の推進		2	教育環境の向上		
	実施計画名			事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分	
	15	小中学校保健衛生事業		4	健康診断器材の滅菌消毒業務委託					行政内部 管理	
事業概要	在校児童生徒の健康診断、就学時健康診断の際に、養護教諭が煮沸消毒をしているが、煮沸消毒では滅失しない菌もあると言われており、滅菌消毒業務を業者に委託することで、感染症予防を強化する。						対象	市内小・中学校			
							手段	健康診断の器材の滅菌消毒の業務委託			
							意図	感染症予防の強化			

事業期間	R3	年度	～	R9以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R2(決算額)			R3(決算額)			R4(決算額)			R5(予算額)
支出内訳				消毒業務委託料	997千円		消毒業務委託料	952千円		消毒業務委託料 1,064千円
合 計					997千円			952千円		1,064千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金			10/10	997千円	10/10	952千円	10/10		1,064千円
	県支出金									
	地方債									
	その他									
	一般財源									
合 計					997千円		952千円			1,064千円
人工数 人件費				0.10人	580千円	0.10人	573千円			
総経費			千円		1,577千円		1,525千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標				R2	R3	R4	R5
1	実施した小学校・中学校数	活動			18校	17校	17校
					18校	17校	
					100.00%	100.00%	
2							
3							

成果	医療器材(鼻鏡・歯鏡)の洗浄・滅菌・管理を、専門業者に委託することにより、健康診断を安全に受診することができた。 また、養護教諭の準備作業の軽減を図ることができた。					
R6年度に向けた課題及び改善策	健診で使用する医療器材の洗浄・滅菌を専門業者に代行することは、新型コロナウイルス感染症等のウイルス感染の危険性を回避することができるため、今後も安全な運用・管理を行う必要がある。					
目標達成度	A	R6年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項						

R4年度 事務事業評価シート				224	課・局・室・所(係)	学校教育課	学務係	事務事業番号	226030404
施策体系	大項目(章)				中項目(基本施策)			小項目(基本事業)	
	5	教育・文化・スポーツ			26	学校教育の推進		3	指導内容・方法の工夫
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	4	特色ある学習指導・生徒指導推進事業	4	キャリア教育推進事業			2－(2)		政策的
	義務教育段階の子どもの社会的・職業的自立に向けて必要となる「基礎的・汎用的能力」を育てるとともに、夢を抱かせ、更に夢を志に進化させる教育の充実を図る。 主体的に自らの未来を切り開くとともに、郷土に誇りと愛着をもち、地域に貢献する子どもを育成するため、学校と家庭、大学、地域、産業界等が、連携・協力したキャリア教育を推進し、教育活動の一層の充実を図る。 本市出身者、または地元で活躍中(文化・スポーツ・起業家等様々な分野)の人材を招いて講演会等を開催する。					対象	市内小・中学校児童生徒		
						手段	職業体験・職業講話等の実施		
						意図	夢や志、つながりの実感を通じて郷土に誇りと愛着を持つ		

事業期間	R3	年度	～	R9以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R2(決算額)			R3(決算額)			R4(決算額)			R5(予算額)
支出内訳				講師謝礼	313千円	講師謝礼	264千円	講師謝礼	600千円	
				消耗品費	34千円	消耗品費	20千円	消耗品費	30千円	
								通信運搬費	30千円	
合計					347千円		284千円		660千円	
財源内訳／割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他			ふるさと支援基金	347千円	ふるさと支援基金	284千円	ふるさと支援基金	660千円	
	一般財源									
	合計				347千円		284千円		660千円	
人工数	人件費			0.12人	694千円	0.12人	688千円			
総経費			千円		1,041千円		972千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標				R2	R3	R4	R5
1	全国学力調査において、「将来の夢や目標を持っている」という設問に対し、肯定的な回答をした児童の割合	成果			75%	75%	75%
					84.8%	86.4%	
					113.06%	115.20%	
2	全国学力調査において、「将来の夢や目標を持っている」という設問に対し、肯定的な回答をした生徒の割合	成果			75%	75%	
					71.8%	73.6%	
					95.73%	98.13%	
3	実施校数	活動			19校	18校	
					13校	15校	
					68.42%	83.33%	

成果	小・中学校において、延べ53名の講師を招聘し、キャリア教育に関する講演等を実施した。特に、地元で活躍されている方々のお話から郷土の誇りや愛着を感じたり、自身の生き方を考えたりする機会となった。					
R6年度に向けた課題及び改善策	地元で活躍される講師人材の選定をするために、商工会議所等と地域の団体との連携を一層強めていくこと。また、小学校と中学校9年間で、系統的にキャリア教育を推進していくこと。					
目標達成度	B	R6年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項						

R4年度 事務事業評価シート				225	課・局・室・所(係)	学校教育課	学務係	事務事業番号	226030405	
施策体系	大項目(章)				中項目(基本施策)			小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ			26	学校教育の推進		3	指導内容・方法の工夫	
	実施計画名		事務事業名				重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
	4	特色ある学習指導・生徒指導推進事業		5	スマイル・サイエンス事業			2ー(2)	理科大	
事業概要	義務教育段階から科学に対する興味、関心を喚起し、科学体験に重点を置いた理数教育の充実を図る。 山口東京理科大学との教育連携協定の一つとして、大学キャンパスを会場とし科学体験・科学作品展を開催する。					対象	小・中学校児童生徒			
						手段	科学体験・科学作品展を行う。			
						意図	科学に対する興味・関心の喚起 様々なことにと挑戦する態度・創造的な能力を育成する。			

事業期間		R3年度 ～ R9以降年度		予算種別	継続	臨時	会計種別	一般	
		R2(決算額)		R3(決算額)		R4(決算額)		R5(予算額)	
支出内訳				賞賜金	24千円	賞賜金	20千円	賞賜金	26千円
				消耗品費	78千円	消耗品費	4千円	消耗品費	200千円
								印刷製本費	20千円
								会場設営委託料	319千円
	合 計				102千円		24千円		565千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金								
	県支出金								
	地方債								
	その他			ふるさと支援基金	102千円	ふるさと支援基金	24千円	ふるさと支援基金	565千円
	一般財源								
	合 計				102千円		24千円		565千円
人工数 人件費				0.11人	636千円	0.15人	860千円		
総経費			千円		738千円		884千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標				R2	R3	R4	R5
1	参加者の中で理科に関心、興味が高まったと回答した割合 (ほんものの科学体験アンケート結果)	活動			80%	80%	80%
					92.90%	91.6%	
					116.13%	114.5%	
2	参加者の中で理科に関心、興味が高まったと回答した割合 (科学作品展来場アンケート結果)	成果			80%	80%	
					-	96.3%	
					-	120.38%	
3							

成果	山口東京理科大学の大学開放デーに、科学作品展審査及び一般公開を実施した。科学作品展には小学校125点・中学校49点の応募があり、その内、優れた科学的研究や創意工夫に基づく研究物・作品として、市長賞2作品、教育長賞7作品、理事長賞1作品、学長賞1作品を選出し表彰した。ほんものの科学の講座を体験した、9割の児童生徒が理科に対する興味関心が高まっており、応募作品も優れた内容が多かった。					
R6年度に向けた課題及び改善策	新型コロナウイルス感染対応下における、大学キャンパスを会場としての科学作品展の開催方法を検討するほか、大学キャンパスが使えない場合、他会場における開催について検討する。大学での開催が可能な場合、さまざまな科学実験等を実際に見て・聴いて・体験する場を設ける等、山口東京理科大学との教育連携の強化を図る。					
目標達成度	A	R6年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項						

R4年度 事務事業評価シート				226	課・局・室・所(係)	学校教育課	学務係	事務事業番号	226030407
施策体系	大項目(章)				中項目(基本施策)			小項目(基本事業)	
	5	教育・文化・スポーツ			26	学校教育の推進		3	指導内容・方法の工夫
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
	4	特色ある学習指導・生徒指導推進事業	7	楽器購入事業					政策的
事業概要	市内の小・中学校の楽器が老朽化しているため、楽器を購入する。特に中学校では、吹奏楽部で使う楽器は高額なものが多く、壊れたり不足したりしても購入が難しい状況である。令和4年度から令和6年度の3年間で寄附金を活用して楽器を購入し、音楽教育の充実を図る。					対象	市内小・中学校児童生徒		
						手段	各学校に楽器を購入する。		
						意図	新しい楽器に触れ、音楽教育の充実を図る。		

事業期間	R4	年度	～	R6	年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R2(決算額)			R3(決算額)			R4(決算額)		R5(予算額)	
支出内訳							校用器具費	3,461千円	校用器具費	5,551千円
合 計								3,461千円		5,551千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他					ふるさと支援基金	3,461千円	ふるさと支援基金	5,551千円	
	一般財源									
	合 計							3,461千円		5,551千円
人工数 人件費							0.05人	287千円		
総経費			千円			千円		3,748千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標				R2	R3	R4	R5
1	楽器購入校	活動				17校	17校、1園
						17校	
						100.00%	
2							
3							

成果	市内小・中学校に楽器を購入し、音楽教育の充実を図った。					
R6年度に向けた課題及び改善策	令和5年度は、市内小・中学校及び埴生幼稚園に楽器を購入。					
目標達成度	A	R6年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項						

R4年度 事務事業評価シート				227	課・局・室・所(係)	社会教育課	社会教育係	事務事業番号	227010104
施策体系	大項目(章)				中項目(基本施策)			小項目(基本事業)	
	5	教育・文化・スポーツ			27	社会教育の推進		1	社会教育活動の推進
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
	1	社会教育推進事業		4	社会教育推進事業(地域交流センター分)		2ー(3)		食事 交流
事業概要	11館ある本市公民館施設は、令和4年度から地域交流センターとして市長部局へ移管され、多様な人々と行政が、持続可能な地域社会の維持という共通の目的のもと、ともに地域課題に向かい合う「協創によるまちづくり」を実践している。今後も、全市的に「地域づくり」に取り組んでいくが、社会教育課においては、「地域づくり」に関与できる人材の発掘・育成を行っていくため、地域交流センターにおける各種主催事業をより深化させ、学びを通じた「人づくり」を充実させていくこととする。					対象	地域住民、地域団体		
						手段	主催講座・主催イベントの開催		
						意図	利用の促進、コミュニティの活性化		

事業期間	R4年度	～	R9以降年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R2(決算額)		R3(決算額)		R4(決算額)		R5(予算額)	
支出内訳					報償費	3,769千円	報償費	4,217千円
合計						3,769千円		4,217千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源					3,769千円		4,217千円
	合計					3,769千円		4,217千円
人工数	人件費				10.25人	36,632千円		
総経費		千円		千円		40,401千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標				R2	R3	R4	R5
1	主催事業参加者数	活動				16,500人 13,187人 80.05%	17,000人
2							
3							

成果	令和4年度から公民館が地域交流センターとして市長部局へ移管され、各センターでは地域づくりに関与できる人づくりを実践するという目的のもと主催事業を実施してきた。平日夜間や土日に事業を実施し、子ども達や若い世代等の一定の利用者も増加した。また、コロナ禍により中止となる講座もあったが、対策を講じながら、事業を実施することができた。					
R6年度に向けた課題及び改善策	利用者の固定化解消のため、地域の皆さんが集まりやすい主催講座の実施を行い、若い世代を代表とする新たな利用者の獲得を目指す必要がある。また、要求課題だけでなく、地域の実情に伴う必要課題を各地域交流センターで実施し、今後の地域の担い手を育成する必要がある。各センターの目標等を明確にし、それに伴う事業を展開していく必要がある。					
目標達成度	C	R6年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項						

R4年度 事務事業評価シート

228

課・局・室・所(係)

社会教育課

社会教育係

事務事業番号

227010202

施策体系	大項目(章)			中項目(基本施策)			小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ		27	社会教育の推進		1	社会教育活動の推進	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
	2	成人式実施事業	2	成人式実施事業(臨時分)					政策的
事業概要	令和4年4月1日成年年齢を20歳から18歳に引き下げる「民法の一部を改正する法律」が施行され、市では引き続き20歳の方を対象に式典を開催した。令和5年1月には新たな名称に変更して式典を開催するため、会場で使用する看板と横断幕を作成した。					対象	新成人		
						手段	記念式典、記念行事の開催		
						意図	大人(市民)としての自覚を促し、故郷への想いを再確認させる		

事業期間	R1以前	年度	～	R4	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R2(決算額)			R3(決算額)			R4(決算額)			R5(予算額)
支出内訳				消耗品費	162千円		消耗品費	71千円		
				印刷製本費	286千円		印刷製本費	30千円		
				通信運搬費	123千円					
合計						571千円			101千円	
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									
	一般財源				571千円			101千円		
	合計					571千円			101千円	
人工数	人件費			0.39人	2,256千円		0.10人	573千円		
総経費			千円			2,827千円			674千円	

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標				R2	R3	R4	R5
1	出席者割合 (出席者数/全対象者数)	活動		67%	67%	67%	
				45%	67%	57%	
				67.16%	100.00%	85.07%	
2	看板及び横断幕作成	活動				一式	
						更新	
						100.00%	
3							

成果	式典の名称変更に伴う看板等の作成は問題なく実施することができた。また、その他のことについても、滞りなく実施することができたと考えている。					
R6年度に向けた課題及び改善策	成年年齢の引き下げ等、社会の新成人に対する考え方も変化しており、「成人を対象とした記念行事」についても、時代のニーズに対応した式典を実施していく必要がある。今後は、式典が「大人としての自覚を持つ場、旧友との再開の場、だけでなく保護者や地域とともに祝える式典として、地域づくりに貢献できる行事としていく必要がある。					
目標達成度	A	R6年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項						

R4年度 事務事業評価シート

229

課・局・室・所(係)

社会教育課

きらら交流館

事務事業番号

227010502

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	27	社会教育の推進	1	社会教育活動の推進		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
	5	きらら交流館管理運営事業	2	宿泊研修施設きらら交流館施設改修				政策的
事業概要	開館後20年が経過し、耐用年数をこえた箇所のみならず、突発的な故障が発生する。指定管理者との契約において、1件10万円以内、年間120万円までの修繕は指定管理者の負担となっているが、その金額を超えた場合は市が経費負担することになっている。きらら交流館臨時駐車場の湧水排水工事を実施した。				対象	施設、設備		
					手段	維持補修、修繕		
					意図	公共施設の適正管理、施設の快適な利用		

事業期間	R1以前	年度	～	R4	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R2(決算額)		R3(決算額)		R4(決算額)		R5(予算額)			
支出内訳	修繕料	877千円	工事請負費(LPガス)	1,495千円	工事請負費	1,297千円				
	工事請負費	928千円	備品購入費	5,775千円						
	備品購入費	1,939千円								
合 計		3,744千円		7,270千円		1,297千円				
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他		地域公益事業	1,495千円						
	一般財源	3,744千円		5,775千円		1,297千円				
	合 計	3,744千円		7,270千円		1,297千円				
人工数 人件費	0.15人	870千円	0.15人	868千円	0.22人	1,261千円				
総経費		4,614千円		8,138千円		2,558千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R2	R3	R4	R5
1	補修、修繕件数	活動	11件	7件	1件	
2						
3						

成果	湧水排水工事は完了した。					
R6年度に向けた課題及び改善策	閉館のため、課題なし					
目標達成度	A	R6年度に向けた方向性				
		成果	休廃止	コスト	皆減	
特記事項						

R4年度 事務事業評価シート			230	課・局・室・所(係)	社会教育課	きらら交流館	事務事業番号	227010503	
施策体系	大項目(章)			中項目(基本施策)			小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ		27	社会教育の推進		1	社会教育活動の推進	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
	5	きらら交流館管理運営事業	3	宿泊研修施設きらら交流館トロン温泉設備管理運営事業					
事業概要	トロン温泉の管理運営に係る、必要な設備の修繕や消耗品の購入を年次的に行う。 【1年毎】 フィルター、純粋器、甲丸リングの更新(消耗品費) 【2年毎】 活性石の更新(消耗品費) 【3年毎】 オゾン発生装置電極部オーバーホール(修繕料) 【5年毎】 トロンサウナシステム機器更新 【10年毎】 トロン浴素の更新(消耗品費)					対象	トロン温泉設備		
						手段	設備の修繕、消耗品の購入		
						意図	公共施設の適正管理、施設の快適な利用		

事業期間	R1以前	年度	～	R4	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R2(決算額)		R3(決算額)		R4(決算額)		R5(予算額)			
支出内訳	消耗品費	536千円	消耗品費①フィルター、リング等	691千円	消耗品費①フィルター	171千円				
	修繕料	863千円	消耗品費②活性石	1,891千円	消耗品費②純粋器	155千円				
合計		1,399千円		2,582千円		326千円				
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									
	一般財源	1,399千円		2,582千円		326千円				
	合計	1,399千円		2,582千円		326千円				
人工数 人件費	0.10人	580千円	0.05人	289千円	0.05人	287千円				
総経費		1,979千円		2,871千円		613千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R2	R3	R4	R5
1	【1年毎】 フィルター、純粋器、甲丸リングの更新(消耗品費)	活動			更新 更新済 100.00%	
2	【2年毎】 活性石の更新(消耗品費)	活動		更新 更新済 100.00%		
3	【3年毎】 オゾン発生装置電極部オーバーホール(修繕料)	活動	露天風呂装置修繕 修繕済 100.00%			

成果	1年毎に更新が必要なフィルターと純粋器のみ更新した。					
R6年度に向けた課題及び改善策	令和5年2月末で閉館					
目標達成度	A	R6年度に向けた方向性				
		成果	休廃止	コスト	皆減	
特記事項						

R4年度 事務事業評価シート
231
課・局・室・所(係)
社会教育課
青年の家
事務事業番号
227010604

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ	27	社会教育の推進	1	社会教育活動の推進	
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング
	6	青年の家施設運営事業	4	プラネタリウム投映事業			政策的
事業概要	青年の家天文館のプラネタリウム(ミノルタMS-10)は、昭和41年に山陽パークに設置された。建物自体は築56年が経過し老朽化が著しく、解体の方向性が示されている。またプラネタリウム本体も光源の白熱電球が製造中止の為入手できず、現在の電球が切れると投映できなくなる。 糸根公園のリニューアル計画を見据え、令和4年度末でプラネタリウム事業を終了し天文館を閉館する。そのため、一般向けに最後の鑑賞機会としてプラネタリウム投映会を実施した。また、プラネタリウム投映の様子を映像で記録し、天文館閉館後の記録資料として活用する。				対象	市民	
					手段	広報紙、HP及びFBに掲載 投映を映像化して閉館後に活用する	
					意図	国産最古プラネタリウムの周知	

事業期間	R4年度	～	R4年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R2(決算額)		R3(決算額)		R4(決算額)		R5(予算額)	
支出内訳					講師謝礼	110千円		
					印刷製本費	99千円		
					映像編集業務委託料	528千円		
合計						737千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他				ふるさと支援基金	737千円		
	一般財源							
	合計					737千円		
人工数	人件費				0.30人	1,720千円		
総経費		千円		千円		2,457千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R2	R3	R4	R5
1	プラネタリウム投映会	活動			10日	
					10日	
					100.00%	
2						
3						

成果	1日に2回投映会を実施し、延べ848人の参加があった。参加者の中には県外から訪れる方も多く、また地元の方にとっては懐かしさもあるプラネタリウムを、閉館前に鑑賞できる良い機会となった。					
R6年度に向けた課題及び改善策	事業完了。投映の様子を記録した映像について活用を図る。					
目標達成度	B	R6年度に向けた方向性				
	成果	完了	完了年度	R4		
特記事項	プラネタリウムは製造元であるコニカミノルタプラネタリウム株式会社へ譲渡した。					

R4年度 事務事業評価シート

232 課・局・室・所(係) 中央・厚狭図書館 中央・厚狭図書館 事務事業番号 227011003

施策体系	大項目(章)				中項目(基本施策)				小項目(基本事業)				
	5	教育・文化・スポーツ				27	社会教育の推進			1	社会教育活動の推進		
	実施計画名			事務事業名				重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分		
10	読書活動推進事業			3	子ども読書活動推進計画推進事業(臨時分)				2-(3)		知守	政策的	
事業概要	全ての子どもがあらゆる機会及び場所において、自主的に読書活動を行うことができるように、環境づくりを行う。令和4年度は、第二次子ども読書活動推進計画により開始した「絵本で子育て出前講座」を継続して行う。 また、第三次計画は令和4年度で終了するため、年度中に第四次計画を策定する。								対象	概ね5歳以下の子ども及びその家族			
									手段	児童書の購入、絵本の読み聞かせなど			
									意図	全ての子どもがあらゆる機会及び場所において、自主的に読書活動を行うことができるように、環境づくりを行う			

事業期間		R1以前	年度	～	R9以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
		R2(決算額)		R3(決算額)		R4(決算額)		R5(予算額)			
支出内訳	講師謝礼		50千円		講師謝礼	40千円	講師謝礼	90千円	講師謝礼	120千円	
	委員報酬		20千円		消耗品費	36千円	消耗品費	39千円	消耗品費	43千円	
					委員報酬	24千円	委員報酬	24千円	委員報酬	48千円	
	合 計		70千円			100千円		153千円		211千円	
財源内訳 / 割合	国庫支出金										
	県支出金										
	地方債										
	その他										
	一般財源		70千円			100千円		153千円		211千円	
	合 計		70千円			100千円		153千円		211千円	
人工数	人件費	1.85人	5,644千円		0.16人	623千円		0.43人	2,059千円		
	総経費		5,714千円			723千円		2,212千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標				R2	R3	R4	R5
1	「絵本で子育て出前講座」参加者数	活動		200人	200人	200人	200人
				206人	37人	249人	
				103.00%	18.50%	124.50%	
2							
3							

成果	「子ども読書活動推進計画」について、計画期間が令和5年度から令和9年度の第四次計画を作成することができた。					
R6年度に向けた課題及び改善策	「子ども読書活動推進計画(第四次計画)」で策定した、活動計画を推進していく必要がある。今後とも「絵本で子育て出前講座」を実施していく。					
目標達成度	A	R6年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項						

R4年度 事務事業評価シート

233

課・局・室・所(係)

中央・厚狭図書館

中央図書館

事務事業番号

227011105

施策体系	大項目(章)			中項目(基本施策)			小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ		27	社会教育の推進		1	社会教育活動の推進	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
	11	図書館管理事業	5	電子書籍購入事業		2－(3)	デジタル化	知守	政策的
事業概要	本市の電子図書館システムは令和3年10月にオープンした。 本システムは、電子書籍を貸し出す権利を取得して、市内に在住・在勤・在学する者に電子書籍の貸出を行う新しいシステムである。 今後、一定の利用者を確保していくため、継続的に電子図書の充実を図る。 【6月補正】企画課対応 当初予算では、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当することとしていたが、デジタル田園都市国家構想交付金の内示があったため、財源を更生する。					対象	市内に在住・在勤・在学する者		
						手段	電子図書館を運営し利用者を確保する。		
						意図	来館しなくても、インターネットを通じて電子書籍の検索・貸出・返却・閲覧が可能であり、コロナ対策にもなる		

事業期間		R3 年度 ～ R9以降 年度		予算種別	継続	臨時	会計種別	一般	
		R2(決算額)		R3(決算額)		R4(決算額)		R5(予算額)	
支出内訳			システム開発委託料	770千円	システム利用料	660千円	システム利用料	660千円	
			システム利用料	275千円	電子図書サービス利用料	6,999千円	電子図書サービス利用料	3,000千円	
			電子図書サービス利用料	9,897千円					
	合 計			10,942千円		7,659千円		3,660千円	
財源内訳 / 割合	国庫支出金		交付金(100%)	10,000千円	1/2	3,500千円	交付金	1,250千円	
	県支出金								
	地方債								
	その他							500千円	
	一般財源			942千円		4,159千円		1,910千円	
	合 計			10,942千円		7,659千円		3,660千円	
人工数	人件費		0.92人	4,269千円	0.53人	2,700千円			
総経費		千円		15,211千円		10,359千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標				R2	R3	R4	R5
1	電子図書館新規登録者数	成果			600人	600人	300人
					355人	4,831人	
					59.17%	805.17%	
2	電子図書館貸出点数	成果			3,000点	6,000点	6,000点
					1,737点	3,256点	
					57.90%	54.27%	
3	電子図書購入点数	活動			2,520点	2,168点	649点
					2,609点	1,170点	
					103.53%	53.97%	

成果	令和3年10月から電子図書館システムを稼働し、令和4年度は引き続き電子書籍の充実と新規利用者の利用促進に努めたところである。新規登録者については、学校教育課と連携し、市内のすべての小学生・中学生にIDとパスワードを配布し電子図書館の利用が出来るようになった。					
R6年度に向けた課題及び改善策	電子図書館の一層の利用促進を図る必要があるため、今後も積極的なPRを展開し電子図書館の利便性や魅力を伝える。また、来館困難者や小・中・高校生の利用に向けて、それぞれのニーズに合わせて幅広く魅力ある電子書籍を継続的に購入し、電子書籍を充実させる必要がある。					
目標達成度	B	R6年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項						

R4年度 事務事業評価シート

234

課・局・室・所(係)

中央・厚狭図書館

事務事業番号

227011204

施策体系	大項目(章)				中項目(基本施策)				小項目(基本事業)				
	5 教育・文化・スポーツ				27	社会教育の推進				1	社会教育活動の推進		
	実施計画名				事務事業名				重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分	
	12	図書館施設整備事業			4	中央図書館空気清浄機設置事業							政策的
事業概要	中央図書館2階にある第1会議室と第2会議室に、コロナの感染予防として空気清浄器を設置する。 同会議室は、おもに会議、イベントなどに使用されるが、一般にも貸し出されており、図書館主催の行事のみならず、幅広く活用されている。								対象	中央図書館第1会議室、第2会議室の利用者			
									手段	空気清浄器を各1台設置する。			
									意図	コロナの感染拡大を予防する。			

事業期間	R4 年度	～	R4 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R2(決算額)		R3(決算額)		R4(決算額)		R5(予算額)	
支出内訳					庁用器具費	105千円		
	合 計					105千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金				交付金	105千円		
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源							
	合 計					105千円		
人工数 人件費					0.07人	401千円		
総経費		千円		千円		506千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R2	R3	R4	R5
1	中央図書館来館者数	成果	72,735人	88,418人	94,185人	
2	第1会議室利用者数	成果	963人	1,345人	1,346人	
3	第2会議室利用者数	成果	434人	703人	772人	

成果	新型コロナウイルス感染症の感染対策として、空気清浄機の購入により会議室を安心して利用できる環境が整備できた。					
R6年度に向けた課題及び改善策						
目標達成度	A	R6年度に向けた方向性				
		成果	完了	完了年度	R4	
特記事項						

R4年度 事務事業評価シート				235	課・局・室・所(係)	学校教育課	学務係	事務事業番号	228010102	
施策体系	大項目(章)				中項目(基本施策)			小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ			28	次世代の学校・地域創生の推進		1	学校・家庭・地域の連携の推進	
	実施計画名			事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
	1	コミュニティ・スクール推進事業		2	スクールアドバイザー配置事業		2ー(3)		交流	政策的
事業概要	コミュニティ・スクールの機能である「学校支援、学校運営、地域貢献」の充実を図るため、学校運営協議会、地域協議会での助言・支援や各種マネジメントを行うスクールアドバイザーを配置する。					対象	コミュニティ・スクール			
						手段	学校運営協議会での助言・支援や各種マネジメントを行う。			
						意図	コミュニティ・スクールの充実			

事業期間		R1以前	年度	～	R9以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
		R2(決算額)		R3(決算額)				R4(決算額)		R5(予算額)	
支出内訳		会計年度任用職	1,684千円	会計年度任用職	1,753千円	会計年度任用職	1,847千円	会計年度任用職	1,632千円		
		員報酬等		員報酬等		員報酬等		員報酬等			
		社会保険料等	318千円	社会保険料等	306千円	社会保険料等	304千円	社会保険料等	282千円		
	合 計		2,002千円		2,059千円		2,151千円		1,914千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金										
	県支出金										
	地方債										
	その他										
	一般財源		2,002千円		2,059千円		2,151千円		1,914千円		
	合 計		2,002千円		2,059千円		2,151千円		1,914千円		
人工数	人件費	0.10人	580千円	0.10人	580千円	0.10人	573千円				
総経費			2,582千円		2,639千円		2,724千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標				R2	R3	R4	R5
1	学校運営協議会、地域教育協議会への出席回数 (各学校年2回)	活動		—	36回	36回	36回
				8回	51回	74回	
				—	141.67%	205.56%	
2	コミュニティ・スクールだよりの発行回数 (月平均2回)	活動		—	24回	24回	24回
				4回	34回	36回	
				—	141.67%	150.00%	
3							

成果	各校においては、コロナ禍の影響を受け、これまでの取組の見直しを図るとともに新たな学校・家庭・地域の連携・協働の在り方を構築する動きが生み出されているが、アドバイザーの支援によりその強化を図ることができた。また、小学6年生、中学3年生、教職員、学校運営協議会委員を対象とした意識調査結果を踏まえ、各校の取組に対する効果検証を行うとともに重点取組事項を明確に示唆することで学校運営協議会のさらなる活性化を図った。					
R6年度に向けた課題及び改善策	中学校区ごとに策定した「学校・地域連携カリキュラム」について、育成をめざす資質・能力を明確にさせ、地域との連携・協働による教育実践のさらなる充実に向けた指導・助言を行っていく。					
目標達成度	A	R6年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項						

R4年度 事務事業評価シート				236	課・局・室・所(係)	社会教育課	社会教育係	事務事業番号	228010302	
施策体系	大項目(章)				中項目(基本施策)			小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ			28	次世代の学校・地域創生の推進		1	学校・家庭・地域の連携の推進	
	実施計画名			事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
	3	家庭教育支援事業		2	家庭教育支援事業(中学校区分)		2ー(3)		知守 交流	政策的
事業概要	「やまぐち型地域連携教育」の仕組みを生かし、概ね中学校区で学校等と連携しながら、地域の実情に応じた家庭教育支援を行うため、小野田中学校区家庭教育支援チームを立ち上げた。小学校区ごとに行ってきたこれまでの活動を中学校区に広げ、子育てサロンや「親の学び」プログラムin小野田などを開催している。学校等との連携を生かして、幼稚園、保育所、小学校、中学校の保護者のつながりづくりを行い家庭教育の充実に向け取り組んでいく。					対象	子育て中の保護者			
						手段	家庭教育支援チームによる支援			
						意図	子育て中の保護者の不安を解消する			

事業期間	R1以前	年度	～	R9以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R2(決算額)			R3(決算額)			R4(決算額)			R5(予算額)
支出内訳	講師謝礼		千円	講師謝礼			講師謝礼			
	消耗品費		千円	消耗品費			消耗品費			5千円
	印刷製本費		83千円	印刷製本費		17千円	印刷製本費		42千円	50千円
	保険料			保険料			保険料		2千円	5千円
合計			83千円			17千円			44千円	60千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金		県補助金			55千円			28千円	40千円
	地方債									
	その他									
	一般財源		一般財源			28千円	一般財源		16千円	20千円
	合計		83千円			17千円			44千円	60千円
人工数	人件費			0.10人		578千円	0.10人		573千円	
総経費			83千円			595千円			617千円	

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標				R2	R3	R4	R5
1	講座回数	活動		2回	2回	2回	2回
				0回	0回	1回	
						50.00%	
2	子育て講座満足度	成果		90.00%以上	90.00%以上	90.00%以上	
				0.00%	0.00%	90.00%	
3	研修会の開催			1回	1回	1回	1回
				0回	0回	1回	
						100%	

成果	令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の関係で、年1回の「親の学び」プログラムin小野田の開催となった。市の家庭教育支援チーム員も参加する形ではあるが、研修会も行った。					
R6年度に向けた課題及び改善策	令和5年度は、4月当初に新入生の保護者対象に「親の学び」プログラムを行い、滑らかな小中連携に心がけた。今後の活動に関しては、支援チーム員で会議をしながら方向性を決めていく予定ではあるが、子育てサロンなど、継続的に行うことのできる活動を取り入れ、自走できるようにしていきたいと考えている。また、コロナウイルス感染症も5類に分類されたことから、同活動を他の中学校区でも展開していくため、他校区の支援チーム員と協議しながら持続可能な活動となるようしっかりと準備を進めていく必要がある。					
目標達成度	C	R6年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項						

R4年度 事務事業評価シート				237	課・局・室・所(係)	大学推進室		事務事業番号	229010103	
施策体系	大項目(章)				中項目(基本施策)			小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ			29	山口東京理科大学の教育環境の整備・充実		1	山口東京理科大学の教育環境の整備・充実	
	実施計画名			事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
	1	公立大学法人山口東京理科大学運営事業		3	公立大学法人山口東京理科大学運営費交付金事業					行政内部 管理
事業概要	地方独立行政法人法第42条に基づき、山陽小野田市が設立した公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学の業務の財源に充てるために、運営費交付金を交付する。					対象	公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学			
						手段	運営費交付金を交付する。			
						意図	公立大学法人の業務の財源に充てるために必要な金額を交付する。			

事業期間	R1以前	年度	～	R9以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R2(決算額)			R3(決算額)			R4(決算額)			R5(予算額)
支出内訳	運営費交付金	1,590,987千円		運営費交付金(通常分)	1,641,890千円		運営費交付金	1,620,304千円		運営費交付金(通常分) 1,741,628千円
				運営費交付金						運営費交付金
				(寄附金充当分)	4,050千円					(寄附金充当分) 2,000千円
	合 計	1,590,987千円			1,645,940千円			1,620,304千円		1,743,628千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他			公立大学法人運営基金繰入金	67,130千円				公立大学法人運営基金繰入金	2,000千円
	一般財源	1,590,987千円			1,578,810千円			1,620,304千円		1,741,628千円
	合 計	1,590,987千円			1,645,940千円			1,620,304千円		1,743,628千円
人工数	人件費	0.25人	1,450千円	0.30人	1,735千円		0.22人	1,261千円		
総経費		1,592,437千円			1,647,675千円			1,621,565千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標				R2	R3	R4	R5
1	山陽小野田市立山口東京理科大学工学部の学生数(入学定員:200人×4年＝収容定員800人) ※R5数理情報科学科新設(入学定員60人)	成果		800人	800人	800人	860人
				849人	853人	860人	
				106.13%	10.66%	107.50%	
2	山陽小野田市立山口東京理科大学薬学部 の学生数(入学定員120人×6年＝収容定員720人)	成果		360人	480人	600人	720人
				378人	487人	597人	
				105.00%	101.46%	99.50%	
3	山陽小野田市立山口東京理科大学大学院 の学生数(工学研究科/工学専攻:収容定員39人)	成果		39人	39人	39人	39人
				40人	40人	42人	
				102.56%	102.56%	107.69%	

成果	薬学部の学生数は、目標人数を下回ったものの、大学全体では、目標人数を上回っており、運営費交付金等の市からの財源措置と授業料収入等の公立大学法人の自主財源により、順調な法人及び大学運営が行われている。					
R6年度に向けた課題及び改善策	市が定めた中期目標の達成に向けて活動する公立大学法人の持続的な運営を確保するため、大学運営について公立大学法人と情報共有を図りながら、運営費交付金を算定し、交付する。					
目標達成度	A	R6年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項						

R4年度 事務事業評価シート			238	課・局・室・所(係)	大学推進室		事務事業番号	229010105				
施策体系	大項目(章)			中項目(基本施策)			小項目(基本事業)					
	5	教育・文化・スポーツ			29	山口東京理科大学の教育環境の整備・充実		1	山口東京理科大学の教育環境の整備・充実			
	実施計画名			事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分		
事業概要	1	公立大学法人山口東京理科大学運営事業			5	公立大学法人山口東京理科大学運営事業(臨時)						政策的
	平成28年4月の公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学設立時に市が同法人に土地と建物を出資しているが、その時点で出資していない土地と未完成であった建物を同法人に出資する。								対象	公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学		
									手段	市有財産(土地・建物)を公立大学法人に出資する。		
									意図	公立大学法人の財産的基礎の強化及び公立大学法人による土地と建物の有効活用の促進		

事業期間	R4	年度	～	R5	年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R2(決算額)			R3(決算額)			R4(決算額)		R5(予算額)	
支出内訳							不動産鑑定評価委託料	814千円		
							登記業務委託料	428千円		
合計								1,242千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									
	一般財源							1,242千円		
	合計							1,242千円		
人工数	人件費						0.32人	1,835千円		
総経費			千円			千円		3,077千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標				R2	R3	R4	R5
1	土地と建物の出資	活動				登記・不動産鑑定 完了 100.00%	出資
2							
3							

成果	令和4年度に不動産登記や不動産鑑定等の出資に必要な手続きを完了し、令和5年4月1日付けで出資を行った。					
R6年度に向けた課題及び改善策						
目標達成度	A	R6年度に向けた方向性				
	成果	完了	完了年度	R5		
特記事項						

R4年度 事務事業評価シート				239	課・局・室・所(係)	大学推進室		事務事業番号	229010201	
施策体系	大項目(章)				中項目(基本施策)			小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ			29	山口東京理科大学の教育環境の整備・充実		1	山口東京理科大学の教育環境の整備・充実	
	実施計画名			事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
	2	公立大学法人山口東京理科大学施設整備事業			1	公立大学法人山口東京理科大学施設整備事業				
事業概要	平成28年4月に公立化した山陽小野田市立山口東京理科大学の教育研究活動に必要な校舎、研究機器類等の施設、設備の整備・充実を行う。					対象	公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学			
						手段	大学校舎及び設備等の整備・充実			
						意図	地方創生の推進に貢献する「知(地)の拠点」の役割を果たす高等教育機関としての機能を強化する。			

事業期間		R1以前 年度 ～ R6 年度		予算種別	継続	臨時	会計種別	一般	
		R2(決算額)		R3(決算額)		R4(決算額)		R5(予算額)	
支出内訳		職員手当等	165千円	職員手当等	188千円	消耗品費	2千円	時間外勤務手当	200千円
		需用費	16千円	需用費	348千円	燃料費	10千円	消耗品費	10千円
		役務費	265千円	役務費	269千円	修繕料	2,970千円	燃料費	24千円
		委託料	10,099千円	委託料	718千円	保険料	275千円	保険料	66千円
		使用料及び賃借料	191千円	使用料及び賃借料	183千円	機械器具借上料	172千円	機械器具借上料	172千円
		工事請負費	49,173千円	工事請負費	299千円	施設整備補助金	204,281千円	施設整備補助金	129,976千円
		その他	107千円	その他	99千円	テレビ共同受信施設組合負担金	94千円	テレビ共同受信施設組合負担金	94千円
	合 計		60,016千円		2,104千円		207,804千円		130,542千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金								
	県支出金								
	地方債	75%	44,300千円			75%	153,200千円	75%	97,400千円
	その他					公立大学法人運営基金	37,653千円		
	一般財源		15,716千円		2,104千円		16,951千円		33,142千円
	合 計		60,016千円		2,104千円		207,804千円		130,542千円
人工数	人件費	0.75人	4,349千円	1.85人	10,699千円	0.50人	2,866千円		
総経費			64,365千円		12,803千円		210,670千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標				R2	R3	R4	R5
1	薬学部校舎等建設スケジュール	活動		工事	工事	工事	工事
				工事	-	工事	
				100.00%	-	100.00%	
2							
3							

成果	公立大学法人が実施主体としてグラウンド及び駐車場・テニスコートの整備が開始され、グラウンドの整備は、令和4年11月に完了し、駐車場・テニスコートの整備は、令和5年度の工事着工に向けて設計が行われており、市は当該整備に要する経費について、公立大学法人に施設整備費補助金を交付した。					
R6年度に向けた課題及び改善策	駐車場・テニスコートの整備は、令和6年度末の完了を予定しているため、今後の物価動向により、工事費が上昇する可能性がある。そのため、工事費等に変更が生じる場合、公立大学法人は、速やかに市に情報を提供し、協議することとしている。					
目標達成度	A	R6年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項						

R4年度 事務事業評価シート

240

課・局・室・所(係)

文化スポーツ推進課

文化会館

事務事業番号

230010403

施策体系	大項目(章)			中項目(基本施策)			小項目(基本事業)				
	5	教育・文化・スポーツ			30	芸術文化によるまちづくりの推進		1	芸術文化を育む環境づくり		
	実施計画名			事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分	
	4	文化会館維持整備事業		3	文化会館改修工事事業			3－(2)			政策的
事業概要	平成6年の開館から27年を経過したことから、今後も文化会館を安全快適に継続して利用するための改修工事を視野に入れ、まずは館全体の現状を把握し、それに従い中長期計画の策定を行う。その計画内容を基に、文化会館を長寿命化するために必要な改修工事実施に向けて、準備を進める。 また、館内各所の雨漏り解消のため、屋上防水工事を先行して年次的に実施する。 R4年度は、アスベスト調査、第1期屋上防水工事に加え、施設全体の老朽化調査及び中長期整備計画業務を行った。						対象	文化会館			
							手段	館全体の現状把握・整備計画等、必要な手順を踏みながら改修工事実施に向けて作業を進める。			
							意図	文化会館を安全快適に継続して利用するため			

事業期間	R4 年度	～	R9以降 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R2(決算額)		R3(決算額)		R4(決算額)		R5(予算額)	
支出内訳					防水工事請負費(1期)	16,632千円	防水工事請負費(2期)	31,034千円
					委託料(アスベスト調査)	95千円	委託料(老朽化調査・	
					委託料(老朽化調査・		整備計画) 繰越明許	34,100千円
					整備計画)			
合計						16,727千円		65,134千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債				90%	14,900千円	90%	27,900千円
	その他						まちづくり魅力基金	34,100千円
	一般財源					1,827千円		3,134千円
	合計					16,727千円		65,134千円
人工数 人件費					0.92人	5,274千円		
総経費		千円		千円		22,001千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R2	R3	R4	R5
1	改修工事に向けた業務委託等	活動			老朽化調査等 次年度繰越 0.00%	基本計画
2	屋上防水工事	活動			1期 完了 100.00%	2期
3						

成果	小ホール、大ホール舞台袖屋上部にあたる防水シートを更新した結果、当該箇所の雨漏りが解消された。					
R6年度に向けた課題及び改善策	屋上防水シート更新については引き続き大ホール舞台の屋上部に当たる箇所の更新を行う。老朽化調査及び中長期整備計画については、令和5年5月末を目途に業務完了を目指す。不二輸送機ホールの運営の方向性を含め、更新計画を検討する。					
目標達成度	C	R6年度に向けた方向性				
		成果	拡充	コスト	現状維持	
特記事項	老朽化調査及び中長期整備計画について、老朽化調査のとりまとめ作業に時間を要しており、それらを基に作成する中長期整備計画の立案にさらに時間を要することから、R4年度予算34,100千円全額を次年度に繰り越した。					

R4年度 事務事業評価シート

241

課・局・室・所(係)

文化スポーツ推進課

文化振興係

事務事業番号

230010501

施策体系	大項目(章)			中項目(基本施策)			小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ		30	芸術文化によるまちづくりの推進		1	芸術文化を育む環境づくり	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	5	世代別市民文化度育成事業	1	(主催)アウトリーチ事業(臨時)					交流
	普段コンサートホールに行くことが難しい人にも質の高い芸術文化に触れてもらうため、身近な施設に出向いて芸術文化に触れる機会を提供し、だれもが気軽に芸術文化に親しむことができる環境づくりを進める。					対象	市民ほか		
						手段	芸術鑑賞機会の提供		
						意図	芸術文化に親しみ、創造性を豊かにする環境づくり及び生きがいづくり		

事業期間	R2	年度	～	R9以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R2(決算額)			R3(決算額)			R4(決算額)			R5(予算額)
支出内訳							報償費	274千円	報償費	500千円
							委託料	100千円	食糧費	10千円
							消耗品費	12千円	消耗品費	60千円
							使用料	2千円	会場借上料	30千円
合計								388千円		600千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他					ふるさと支援基金	388千円	ふるさと支援基金	600千円	
	一般財源									
合計								388千円		600千円
人工数 人件費				0.30人	1,735千円		0.29人	1,452千円		
総経費			千円		1,735千円			1,840千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R2	R3	R4	R5
1	アウトリーチ実施回数	活動	2回	2回	2回	2回
			中止	中止	2回	
			-	-	100.00%	
2						
3						

成果	普段コンサートホールに行くことが難しい人にも質の高い芸術文化に触れてもらうため、身近な施設である商業施設や、地域交流センターで実施することができた。					
R6年度に向けた課題及び改善策	市民がより身近に芸術に触れることができる場所を開拓する。					
目標達成度	A	R6年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項						

R4年度 事務事業評価シート				242	課・局・室・所(係)	文化スポーツ推進課	文化振興係	事務事業番号	230010502	
施策体系	大項目(章)				中項目(基本施策)			小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ			30	芸術文化によるまちづくりの推進		1	芸術文化を育む環境づくり	
	実施計画名			事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
	5	世代別市民文化度育成事業		2	(主催)子ども文化ふれあい事業					交流
事業概要	子ども達に多彩なアーティストによる優れた公演を間近に体験させることにより、豊かな感情や情緒を育み、創造的で個性的な価値観を養うため、各小学校や公立幼・保育園で芸術文化鑑賞会を実施する。 1. 小学生対象(6年児童) 2. 幼・保育園児対象(2回) 幼児期に音楽に触れる経験が、音を聴く力、言語能力等に与える効果を期待し、未就学児を対象に実施する。 R4:ねたろう保育園・厚陽保育園					対象	市内全小学生及び未就学児			
						手段	小学校及び幼保育園で開催する			
						意図	子どもたちに生の鑑賞機会を提供することで感動を体感してもらう			

事業期間	R1以前	年度	～	R9以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R2(決算額)			R3(決算額)			R4(決算額)			R5(予算額)
支出内訳				報償費	493千円	報償費		150千円	報償費	200千円
				消耗品費	4千円	公演業務委託料		700千円	消耗品費 ほか	45千円
				食糧費	13千円	著作権使用料		3千円	著作権使用料	20千円
				手数料(調律)	121千円	自動車借上料		11千円	手数料(調律)	42千円
				公演業務委託料	1,150千円	食糧費		13千円	公演業務委託料	760千円
				自動車借上料	57千円				送迎業務委託料	800千円
				著作権使用料	2千円				舞台業務委託料	50千円
	合 計				1,840千円			877千円		1,917千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他					ふるさと支援基金	877千円	ふるさと支援基金	1,917千円	
	一般財源				1,840千円					
	合 計				1,840千円			877千円		1,917千円
人工数	人件費			0.75人	3,314千円	0.29人	1,452千円			
総経費			千円		5,154千円			2,329千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標				R2	R3	R4	R5
1	公演実施回数	活動		1回	14回	6回	3回
				中止	14回	6回	
				-	100.00%	100.00%	
2	入場者数	成果		600人	600人	400人	800人
				中止	1,258人	485人	
				-	209.67%	121.25%	
3							

成果	当初の予定通り、山陽地区の小学校(6校)及び幼・保育園(2園)を実施し、間近で芸術に触れる機会を与えることができた。一流の演奏を鑑賞することは、児童や園児にとって貴重な機会となった。					
R6年度に向けた課題及び改善策	優れた芸術文化に触れる機会であるとともに、芸術鑑賞のマナーを学ぶ機会にもなっており、継続開催していきたい。					
目標達成度	A	R6年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項						

R4年度 事務事業評価シート

243

課・局・室・所(係)

文化スポーツ推進課

文化振興係

事務事業番号

230020201

施策体系	大項目(章)				中項目(基本施策)				小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ			30	芸術文化によるまちづくりの推進			2	芸術文化活動の推進		
	実施計画名			事務事業名				重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分	
	2	ガラス文化推進事業			1	現代ガラス展開催事業				3－(2)		交流
事業概要	本市のガラス文化の魅力を発信するため、平成13年度から3年に1度開催している「現代ガラス展in山陽小野田」の第9回展を令和5年度に開催する。令和4年度は、開催に向けた準備を行った。第9回展は、これまでの開催内容に工夫を凝らしながら、ガラス文化の魅力をさらに引き出し、交流人口の増加を図るほか、令和2年度開催の第8回展に引き続き、東京・上野の森美術館を会場とした特別作品展を開催し、ガラス文化の発信とあわせて、本市の魅力を首都圏で広く発信する。 【12月補正理由】「第9回現代ガラス展in山陽小野田」における、ポスター・デザイン等作成業務及び会場設営業務等の委託業者を決定するためのプロポーザルを令和4年度に実施するにあたり、予算の裏付が必要なため、債務負担行為を設定した。なお、前払金無しを想定しているため、令和4年度予算での支払いが生じない。								対象	全市民及びガラス文化に興味のある人		
									手段	現代ガラス展の開催		
									意図	ガラス文化の推進		

事業期間	R1以前	年度	～	R9以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R2(決算額)			R3(決算額)			R4(決算額)			R5(予算額)
支出内訳	現代ガラス展実行委員会負担金	2,379千円				千円	現代ガラス展実行委員会負担金	3,000千円	現代ガラス展実行委員会負担金	8,600千円
							【12月補正】			
							負担金(債務負担行為)			
合計		2,379千円						3,000千円		8,600千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	ふるさと支援基金	2,379千円				ふるさと支援基金	3,000千円	ふるさと支援基金	8,600千円
	一般財源					千円				
	合計		2,379千円					3,000千円		8,600千円
人工数	人件費	0.46人	2,657千円	0.77人	4,077千円		1.15人	4,905千円		
総経費			5,036千円		4,077千円			7,905千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標				R2	R3	R4	R5
1	入場者数	成果		10,500人	-	-	18,500人
				1,196人(縮小開催)	-		
				11.40%	-		
2	ガラス制作体験者数 ・きららガラス未来館講座・体験者数、自主事業参加者数 ・市主催ガラス体験教室参加者数	成果		-	3,000人	3,000人	3,000人
				-	4,832人	6,847人	
				-	161.07%	228.23%	
3							

成果	今年度は令和5年度の開催に向けて準備を行ったが、本展開催(50日間)に加え、山口県立萩美術館・浦上記念館(79日間)及び東京・上野の森美術館(5日間)の特別作品展の開催が決定し、ガラス文化の発信とあわせて、本市の魅力を首都圏で広く発信する。					
R6年度に向けた課題及び改善策						
目標達成度	A	R6年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項						

R4年度 事務事業評価シート

244

課・局・室・所(係)

文化スポーツ推進課

文化振興係

事務事業番号

230020202

施策体系	大項目(章)			中項目(基本施策)			小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ		30	芸術文化によるまちづくりの推進		2	芸術文化活動の推進		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分	
	2	ガラス文化推進事業	2	ガラス文化推進事業		3-(2)		交流	政策的	
事業概要	・出張ガラス体験教室の開催／市内外の行事等で開催し、多くの人が本市ガラス文化に興味を持つきっかけとするとともに、きららガラス未来館をPRし来館を促すことで、本市のガラス文化の推進を図る。 ・市所有ガラス作品の定期的な展示替え／公共施設等に展示しているガラス作品の定期的な展示替えを行い、市民が様々なガラス作品を鑑賞する機会を提供する。 ・市所有ガラス作品の団体等への貸出／展示を希望する団体・事業所等へのガラス作品等の貸出を行うことで、貴重な作品を作品を眠らせることなく活用し、市のガラス文化を広く多くの方々に周知する機会を増やす。					対象	全市民及びガラス文化に興味のある人			
						手段	市内外できららガラス未来館によるガラス作品制作の出張体験教室を開催する			
						意図	ガラス文化の推進			

事業期間	R1以前	年度	～	R9以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R2(決算額)			R3(決算額)			R4(決算額)			R5(予算額)
支出内訳	講師謝礼			講師謝礼	20千円		講師謝礼	183千円	講師謝礼	291千円
	旅費			消耗品費	3千円		旅費	33千円	1万*2人*12回+交通費相当	
	消耗品費			出展負担金	7千円				旅費	49千円
	通信運搬								消耗品費	37千円
	出展負担金								通信運搬費	9千円
	特別作品展(東京)	2,936千円							出展負担金	6千円
	合 計		2,936千円		30千円			216千円		392千円
財源内訳／割合	国庫支出金	地方創生(1/2)	1,367千円							
	県支出金									
	地方債									
	その他			ふるさと支援基金	30千円	ふるさと支援基金	216千円	ふるさと支援基金	392千円	
	一般財源		1,569千円		千円					
	合 計		2,936千円		30千円			216千円		392千円
人工数	人件費	0.20人	1,155千円	0.66人	3,135千円	0.43人	1,621千円			
総経費			4,091千円		3,165千円		1,837千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標				R2	R3	R4	R5
1	出張体験教室の開催回数	活動		12回	12回	12回	12回
			中止		1回	5回	
			-		8.33%	41.67%	
2	出張体験教室の参加者人数	活動		240人	240人	240人	240人
			中止		18人	142人	
			-		7.50%	59.17%	
3	保有ガラス作品の展示替え施設 ガラス作品の貸出件数	活動		4日	-	10施設・3件	10施設・4件
				5日	-	-	
				125.00%	-	-	

成果	下関生涯学習プラザに加え、企画はしていたもののコロナ禍で中止となっていた防府市アスピラートでの体験教室が実施でき、県内においてもガラス文化の推進を図ることができた。					
R6年度に向けた課題及び改善策	講師の対応人数が限られており、出張体験教室を頻繁に行うことが難しい状況であり、実施回数や体験者数を増やしていくということが困難である。今後、人員確保等ガラス未来館との調整が必要となる。					
目標達成度	C	R6年度に向けた方向性				
		成果	縮小	コスト	縮小	
特記事項						

R4年度 事務事業評価シート				245	課・局・室・所(係)	文化スポーツ推進課	文化振興係	事務事業番号	230020301	
施策体系	大項目(章)				中項目(基本施策)			小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ			30	芸術文化によるまちづくりの推進		2	芸術文化活動の推進	
	実施計画名			事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
	3	文化によるまちづくり推進事業		1	かるたによるまちづくり推進事業		3ー(2)		交流	政策的
事業概要	市内公共施設や小学校の授業の一環としてかるた教室を開催することで、市内全域への競技かるたの普及を進める。 また、教室参加者や競技者を対象としたかるた大会を開催することにより、競技者のさらなる増加を図ることで、「かるたのまち山陽小野田」の魅力を発信し、交流人口の拡大を図る等、かるたによるまちづくりを展開する。					対象	本市及び競技かるたに興味のある人			
						手段	かるた教室等の開催			
						意図	競技かるたの普及、かるたを通じた交流人口の拡大及びかるたによるまちづくりの展開			

事業期間		R1以前	年度	～	R9以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
		R2(決算額)		R3(決算額)		R4(決算額)		R5(予算額)			
支出内訳		かるた教室事業委託料	180千円	かるた教室委託料(15千×12)	180千円	かるた教室事業委託料	455千円	かるた教室事業委託料	470千円		
		消耗品(かるた購入)	407千円	報償費(10千×5 小野田高校)		消耗品	63千円	消耗品費	8千円		
						保険料	3千円	通信運搬費	10千円		
								保険料	10千円		
								会場借上料	2千円		
	合 計		587千円		180千円		521千円		500千円		
財源内訳／割合	国庫支出金	地方創生1/2	293千円	地方創生1/2	90千円						
	県支出金										
	地方債										
	その他					ふるさと支援基金	521千円	ふるさと支援基金	500千円		
	一般財源		294千円		90千円						
	合 計		587千円		180千円		521千円		500千円		
人工数	人件費	0.40人	2,320千円	0.78人	3,488千円	0.80人	3,321千円				
	総経費		2,907千円		3,668千円		3,842千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標				R2	R3	R4	R5
1	出前かるた教室の開催 (参加者数)	活動		7回	12回	15回	15回
				12回(9校552人)	12回(9校430人)	26回(1,080人)	
				171.43%	100.00%	173.33%	
2	一般向けかるた教室の開催 (参加者数)	活動		4回	4回	3回	3回
				中止	中止	1回(9人)	
				-	-	33.33%	
3	かるた大会の開催 (参加者数)	活動		1回	1回	1回	1回
				中止	中止	1回(14人)	
				-	-	100.00%	

成果	小中学生を対象としたかるた出前教室を今年度初めて市内全小・中学17校23回開催し、1,000名を超える児童・生徒に競技かるたに触れる機会を提供することができた。また、初めての試みとして、幼児かるた出前教室を4園3回実施し、50名を超える幼児にかるたに触れる機会を提供することができた。					
R6年度に向けた課題及び改善策	幼児対象のかるた出前教室が大変好評で、市内幼・保育園22園中半数以上の開催希望があるため、開催回数を増やすことで若い世代にかるた文化を継承したい。また、山口東京理科大学の競技かるた部との交流を深めるなど、かるたを通じた交流の輪をさらに広い世代に広げていきたい。競技かるたに継続して取り組む人材の育成、本市かるた文化を若い世代にいかに関承するかが課題である。					
目標達成度	A	R6年度に向けた方向性				
		成果	拡充	コスト	拡大	
特記事項						

R4年度 事務事業評価シート

246

課・局・室・所(係)

文化スポーツ推進課

文化振興係

事務事業番号

230020302

施策体系	大項目(章)			中項目(基本施策)			小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ		30	芸術文化によるまちづくりの推進		2	芸術文化活動の推進		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分	
	3	文化によるまちづくり推進事業		2	芸術文化アドバイザー設置事業					政策的
事業概要	芸術文化活動の活性化及び本市の特色を活かした芸術文化によるまちづくりの推進を目的として、専門的な立場からの助言を得るため、芸術文化アドバイザーを設置する。(ガラス、音楽、競技かるた:各2名)					対象	本市文化振興行政			
						手段	専門的な立場からの助言を得る			
						意図	本市の魅力を活かした文化振興によるまちづくりの推進			

事業期間		R1以前	年度	～	R9以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
		R2(決算額)		R3(決算額)		R4(決算額)		R5(予算額)			
支出内訳		報償費	40千円	報償金	90千円	報償費	100千円	報償費	360千円		
								(10千円*36回)			
	合 計		40千円		90千円		100千円		360千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金										
	県支出金										
	地方債										
	その他					ふるさと支援基金	100千円	ふるさと支援基金	360千円		
	一般財源		40千円		90千円						
	合 計		40千円		90千円		100千円		360千円		
人工数	人件費	0.02人	116千円	-	千円	0.06人	344千円				
総経費			156千円		90千円		444千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標				R2	R3	R4	R5
1	芸術及び文化によるまちづくりのための専門的な立場からの助言	活動		100回	36回	36回	36回
				4回	9回	10回	
				4.00%	25.00%	27.78%	
2							
3							

成果	専門的な見地から助言を得ることで、本市の魅力を活かした文化事業を実施することができた。					
R6年度に向けた課題及び改善策	引き続きアドバイザーの意見を有効に活用し、事業に反映していきたい。活用頻度を増やし、コストの中で最大限の効果が得られるよう、制度の充実を図りたい。					
目標達成度	D	R6年度に向けた方向性				
		成果	縮小	コスト	縮小	
特記事項						

R4年度 事務事業評価シート				247	課・局・室・所(係)	社会教育課	文化財係	事務事業番号	230030102
施策体系	大項目(章)				中項目(基本施策)			小項目(基本事業)	
	5	教育・文化・スポーツ			30	芸術文化によるまちづくりの推進		3	文化財の保護・活用
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
	1	文化財保護活用事業		2	「ふるさと文化遺産」登録・活用				
事業概要	評価が厳選される指定文化財以外にも、地域の財産として親しまれ大切にされている文化的財産は多くあり、一定の価値づけを行うことで、市民が誇りをもって広く紹介し活用を図ることが可能となる。本制度を通して、そうした価値づけを行い、市民のアイデンティティ確立とあわせ、ふるさと学習での活用を図る。令和2年度から地域交流センター(旧公民館)や市民館で講演会を開催し、多くの市民へふるさと文化遺産の周知が図れ、あわせて冊子販売実績も上がっている。令和3年度に登録した「窯のまち」について、販売が見込まれる部数分の印刷発注を行うものである。					対象	文化的財産		
						手段	調査研究、情報収集により資料作成後登録。 登録後活用を場を地域、学校等幅広く設定		
						意図	文化的財産の価値づけ、保護・活用、市民の郷土愛の醸成		

事業期間	R2 年度 ~		R9以降 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R2(決算額)		R3(決算額)		R4(決算額)		R5(予算額)	
支出内訳			印刷製本費	99千円	印刷製本費	99千円		
合計				99千円		99千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他		販売収入	10千円	販売収入	46千円		
	一般財源			89千円		53千円		
	合計			99千円		99千円		
人工数 人件費	0.30人	1,740千円	0.35人	2,024千円	0.15人	860千円		
総経費		1,740千円		2,123千円		959千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標				R2	R3	R4	R5
1	ふるさと文化遺産への登録 (カテゴリー単位で行う)	成果		1件	1件	0件	0件
				1件	1件	0件	
				100.00%	100.00%	0.00%	
2	ふるさと文化遺産をテーマにした地域、学校、団体との連携事業の実施回数	活動		8回	10回	10回	10回
				8回	10回	11回	
				100.00%	100.00%	110.00%	
3	ふるさと文化遺産ファイル販売数	活動		100冊	200冊	200冊	100冊
				176冊	20冊	60冊	
				176.00%	10.00%	30.00%	

成果	令和3年度に登録した、ふるさと文化遺産「窯のまち」の講演会を地域交流センターや学校などで行い、市内外の多くの方に、ふるさと文化遺産を知っていただく機会を設け郷土愛の醸成や学びが深まる機会となった。					
R6年度に向けた課題及び改善策	新たなふるさと文化遺産の登録を行い講演会を行うことで、多くの方に知っていただき、ふるさと文化遺産ファイルの販売数につなげ財源確保に努める。					
目標達成度	C	R6年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項						

R4年度 事務事業評価シート				248	課・局・室・所(係)	社会教育課	文化財係	事務事業番号	230030201	
施策体系	大項目(章)				中項目(基本施策)			小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ			30	芸術文化によるまちづくりの推進		3	文化財の保護・活用	
	実施計画名			事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
	2	文化財保存整備事業		1	周防灘干拓遺跡高泊開作浜五挺唐樋保存修復事業					
事業概要	国史跡浜五挺唐樋は、近世の周防灘における萩藩による開作(干拓)の実態を示す貴重な遺跡である。また切石による精緻な構造は、当時の土木技術の到達点が良く示されている。山陽小野田市のまちづくりの原点を歴史的背景から学べるこの史跡を、計画的かつ適正に保存管理していく必要がある。史跡保存活用計画を2年かけて策定するにあたり、1年目として史跡の測量業務と、計画策定業務を行った。					対象	国指定文化財			
						手段	測量調査、図面作成、保存活用計画の策定			
						意図	文化財保護、観光資源の価値向上			

事業期間	R1以前	年度	～	R9以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R2(決算額)			R3(決算額)			R4(決算額)			R5(予算額)
支出内訳	修繕料(経常)	87千円		工事請負費	2,768千円		測量業務委託料	1,845千円	策定業務委託料	4,580千円
				修繕料	2,026千円		策定業務委託料	508千円	報償費	30千円
							報償費	20千円	旅費	266千円
							旅費	166千円		
合計		87千円			4,794千円			2,539千円		4,876千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金					50%	1,271千円	50%	2,438千円	
	県支出金									
	地方債									
	その他			ふるさと支援基金繰入金	4,794千円					
	一般財源	87千円					1,268千円		2,438千円	
	合計	87千円			4,794千円		2,539千円		4,876千円	
人工数	人件費	0.20人	1,160千円	0.30人	1,735千円	0.30人	1,720千円			
総経費		1,247千円			6,529千円		4,259千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標				R2	R3	R4	R5
1	浚渫工事、ロクロ・招き戸補修工事	活動		ロクロ1本	工事一式		
				ロクロ1本	工事一式		
				100.00%	100.00%		
2	測量調査、図面作成	活動				一式	
						一式	
						100.00%	
3	保存活用計画策定	成果				計画策定用資料準備	計画策定
						計画策定用資料準備	
						100.00%	

成果	浜五挺唐樋を計画的に保存・活用するため令和4年度から2年計画で保存活用計画策定する。令和4年度は、浜五挺唐樋の測量・図面作成や、計画策定に必要な資料として空中写真撮影、古文書の撮影を行った。					
R6年度に向けた課題及び改善策	策定した国史跡周防灘干拓遺跡高泊開作浜五挺唐樋保存活用計画を基に、適切な史跡の保存と活用に努めていく。					
目標達成度	A	R6年度に向けた方向性				
		成果	縮小	コスト	縮小	
特記事項	浜五挺唐樋は山口市名田島南蛮樋と一体で国史跡指定をうけている。今後の活用について、各史跡にある特色(山口市:国指定範囲が広く、樋門の構造が違う。本市:国指定範囲が狭くコンパクトで見学しやすい。構造がわかるロクロ・招き戸が残っている)を活かした活用策を検討していく。					

R4年度 事務事業評価シート

249

課・局・室・所(係)

社会教育課

文化財係

事務事業番号

230030204

施策体系	大項目(章)			中項目(基本施策)			小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ		30	芸術文化によるまちづくりの推進		3	文化財の保護・活用		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分	
	2	文化財保存整備事業		4	且の登り窯保存事業					政策的
事業概要	市指定文化財である且の登り窯は、本体の老朽化が著しく、煙突が破損している状態である。また覆屋が強風によりスレートの一部が破損・落下し、また老朽化により木製の柱の一部が腐食している状態である。このまま放置すると台風等により周辺住民に危険をもたらし、また指定文化財にも被害を与える恐れがあるため、令和2年度に緊急的に修繕を実施し、今後覆屋を数年に分けて計画的に修理をする。登り窯については、有識者の意見も聞きながら、今後の保存について検討する。					対象	文化財			
						手段	窯・覆屋の修繕			
						意図	劣化を防止し、適正な保存管理に努める			

事業期間		R2	年度	～	R7	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般	
		R2(決算額)			R3(決算額)			R4(決算額)			R5(予算額)	
支出内訳		修繕料	630千円		修繕料	497千円		修繕料	491千円		修繕料	494千円
	合 計		630千円			497千円			491千円			494千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金											
	県支出金											
	地方債											
	その他											
	一般財源		630千円			497千円			491千円			494千円
	合 計		630千円			497千円			491千円			494千円
人工数	人件費	0.15人	870千円		0.03人	174千円		0.05人	287千円			
	総経費		1,500千円			671千円			778千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R2	R3	R4	R5
1	覆屋の修理	活動	一部修理	一部修理	一部修理	一部修理
			完了	完了	完了	
			100.00%	100.00%	100.00%	
2						
3						

成果	覆屋をブロックに分け、緊急を要する箇所から順次修繕を実施している。近隣住民や見学者への安全に配慮し、また史跡を雨風から守ることで、窯本体の適切な保存管理ができています。					
R6年度に向けた課題及び改善策	台風などの影響で予定外の箇所の覆屋修繕を行っており、修繕計画が遅れ気味になっている。また、窯本体についても劣化が見られるため、今後どのように保存を進めるべきか検討が必要である。					
目標達成度	A	R6年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項						

R4年度 事務事業評価シート				250	課・局・室・所(係)	社会教育課	文化財係	事務事業番号	230030206
施策体系	大項目(章)				中項目(基本施策)			小項目(基本事業)	
	5	教育・文化・スポーツ			30	芸術文化によるまちづくりの推進		3	文化財の保護・活用
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	2	文化財保存整備事業	6	山下記念館 解体工事					政策的
	昭和8年に厚狭図書館として完成し、その後図書館の移転に伴い、民俗資料保存館に転用された。建物自体にクラックが入り、耐震化もされておらず、安全確保が出来ていないため、現在は利活用されていない。今後も利活用は困難な状況のため、建物を解体し、跡地を売却する。令和4年度は解体工事に伴う実施設計業務を委託した。					対象	山下記念館		
						手段	建物の解体		
						意図	建物の老朽化に伴い維持管理が困難		

事業期間	R4	年度	～	R6	年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R2(決算額)			R3(決算額)			R4(決算額)		R5(予算額)	
支出内訳							設計委託料	2,992千円	測量調査委託料	1,485千円
									家屋調査業務委託料	6,790千円
									工事請負費	10,904千円
合計								2,992千円		19,179千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債						山下記念館除却事業債	2,992千円	山下記念館除却事業債	9,800千円
	その他									
	一般財源									9,379千円
	合計							2,992千円		19,179千円
人工数	人件費			0.01人	58千円		0.10人	573千円		
総経費			千円		58千円			3,565千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標				R2	R3	R4	R5
1	館内収蔵品の整理及び廃棄	成果	一式				
			完了				
			100.00%				
2	建物の解体	成果				実施設計	解体
						完了	
						100.00%	
3							

成果	山下記念館解体工事の実施設計業務が完了した。この成果物を元に、令和5年度の解体工事を進める。					
R6年度に向けた課題及び改善策	令和6年度に解体工事に伴う事後家屋調査を行い、その後山下記念館解体後の跡地は売却する。					
目標達成度	A	R6年度に向けた方向性				
		成果	縮小	コスト	縮小	
特記事項						

R4年度 事務事業評価シート

251

課・局・室・所(係)

社会教育課

文化財係

事務事業番号

230030209

施策体系	大項目(章)			中項目(基本施策)			小項目(基本事業)				
	5	教育・文化・スポーツ			30	芸術文化によるまちづくりの推進		3	文化財の保護・活用		
	実施計画名			事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分	
	2	文化財保存整備事業		9	出土品鉄製品保存処理事業					政策的	
事業概要	県指定文化財「物見山経塚出土品」等の鉄製品の表面に錆が出て一部剥離しており、保存状態が著しく悪化している。本市の貴重な考古資料を後世に継承していくため、再度保存処理をする。						対象	古墳等出土品の鉄製品			
							手段	専門業者に業務委託し、保存処理をする			
							意図	考古資料の適正な管理			

事業期間	R4 年度	～	R5 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R2(決算額)		R3(決算額)		R4(決算額)		R5(予算額)	
支出内訳					文化財保存処理業務委託料	330千円	業務委託料	330千円
合 計						330千円		330千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源					330千円		330千円
	合 計					330千円		330千円
人工数 人件費					0.05人	287千円		
総経費		千円		千円		617千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R2	R3	R4	R5
1	物見山経塚出土品鉄製品の保存処理				一式 完了 100.00%	
2	県指定文化財出土品鉄製品の保存処理					一式
3						

成果	県指定の鉄製品について、X線透過撮影やクリーニング、コーティング除去を行い、脱塩処理や樹脂塗布などを施し、保存処理を実施し、現状復帰することができた。					
R6年度に向けた課題及び改善策	古墳等出土品については、今後も定期的に保存処理を行い、貴重な考古資料を後世に残していく必要がある。					
目標達成度	A	R6年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項						

R4年度 事務事業評価シート				252	課・局・室・所(係)	社会教育課	歴史民俗資料館	事務事業番号	230030302	
施策体系	大項目(章)				中項目(基本施策)			小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ			30	芸術文化によるまちづくりの推進		3	文化財の保護・活用	
	実施計画名			事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
	3	文化財保存展示事業(歴史民俗資料館)		2	歴史民俗資料館管理運営事業(企画展)					
事業概要	山陽小野田市の歴史や文化財への理解を深め、郷土愛の醸成を図ることを目的として、企画展と講演会を開催する。令和4年度は、企画展「昭和17年8月27日-80年前の風水害」・「発掘された山口巡回展」・「ふるさと文化遺産 窯のまち」・「大田家文書～山野井村長府藩領庄屋家の記録～」、講演会「考古学から見た小野田の硫酸瓶」・「長府藩の仕組み」を開催した。					対象	市民、県民、歴史愛好家			
						手段	企画展・講演会の開催			
						意図	市の歴史を様々な角度から紹介し、市民には郷土愛を育み、市外の人には本市に関心を持ってもらう			

事業期間		R1以前	年度	～	R9以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般		
		R2(決算額)				R3(決算額)				R4(決算額)		R5(予算額)	
支出内訳		消耗品費	127千円		講師謝礼	45千円		講師謝礼	15千円		講師謝礼	30千円	
		印刷製本費	50千円		普通旅費・通送料	18千円		普通旅費・通送料	22千円		消耗品費	664千円	
		通信運搬費	24千円		消耗品費	729千円		消耗品費	775千円		印刷製本費	513千円	
		手数料	17千円		印刷製本費	350千円		印刷製本費	366千円		通信運搬費	71千円	
					通信運搬費	88千円		通信運搬費	98千円				
					手数料	53千円		図書購入費	20千円				
					図書購入費	19千円							
	合 計		218千円			1,302千円			1,296千円			1,278千円	
財源内訳 / 割合	国庫支出金												
	県支出金												
	地方債												
	その他	ふるさと支援基金繰入金	218千円		ふるさと支援基金繰入金	1,294千円		ふるさと支援基金繰入金	1,292千円		ふるさと支援基金繰入金	1,274千円	
	一般財源				その他	8千円			4千円			4千円	
	合 計		218千円			1,302千円			1,296千円			1,278千円	
人工数	人件費	1.54人	4,021千円	1.40人	3,707千円	1.00人	2,800千円						
総経費			4,239千円			5,009千円			4,096千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標				R2	R3	R4	R5
1	企画展・講演会等の開催回数	活動		6	6	6	5
				3	9	10	
				50.00%	150.00%	166.67%	
2	企画展・講演会等の来場者数	活動		3400	3500	3500	3000
				1464	3660	2819	
				43.06%	104.57%	80.54%	
3							

成果	企画展「昭和17年8月27日-80年前の風水害」は、市内外を問わず(防災関係者等の)関心が高く、また小中学校の防災教育・タブレット授業にも役立てられた。教育委員会が前年度3月に登録した「ふるさと文化遺産 窯のまち」と連携した企画展では、他部局や他施設とも連携することで、来館者により理解を深めてもらうことができた。「大田家文書」では、これまでの史料調査の成果をもって、新たな文化財として広く紹介できた。					
R6年度に向けた課題及び改善策	来館者数を増やすために、リピーター客以外にも客層を広げたい。そのためには、様々な角度からの資料調査を継続し、地域の歴史について理解を深められるような企画展を開催する。					
目標達成度	B	R6年度に向けた方向性				
		成果	拡充	コスト	拡大	
特記事項	R5年度は、エレベーターの更新事業により休館する期間があるため、企画展の回数をこれまでの4回から3回に減らしている。R6年度以降は、企画展の回数を4回に戻し、事業を充実させたい。					

R4年度 事務事業評価シート
253
課・局・室・所(係)
社会教育課
歴史民俗資料館
事務事業番号
230030405

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ	30	芸術文化によるまちづくりの推進	3	文化財の保護・活用	
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング
4	歴史民俗資料館施設整備事業	5	エレベーター更新事業				政策的
事業概要	歴史民俗資料館のエレベーターは、開館した昭和57(1982)年に設置され39年が経過している。油圧式エレベーターを使用しており、毎月業者によるメンテナンスを行っているが、現在、油圧式は製造されておらず、令和5(2023)年12月に部品の供給が終わる。以降はメンテナンスの委託もできなくなるため、ロープ式エレベーターに更新する。そのため実施設計業務を委託する。				対象	エレベーター	
					手段	ロープ式エレベーター更新	
					意図	安全な館運営	

事業期間	R4年度	～	R5年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R2(決算額)		R3(決算額)		R4(決算額)		R5(予算額)	
支出内訳					実施設計業務委託料	1,155千円	工事請負費	27,140千円
							PCB分析調査委託料	77千円
合計						1,155千円		27,217千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債				歴史民俗資料館整備事業債	1,000千円	歴史民俗資料館整備事業債	24,400千円
	その他							
	一般財源					155千円		2,817千円
	合計					1,155千円		27,217千円
人工数	人件費				0.10人	573千円		
総経費		千円		千円		1,728千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R2	R3	R4	R5
1	ロープ式エレベーター実施設計				一式	
					一式	
					100.00%	
2	ロープ式エレベーター更新					一式
3						

成果	エレベーター更新に伴う実施設計業務が完了した。					
R6年度に向けた課題及び改善策	令和5年度末までにエレベーターを更新するため、令和5年度で事業完了予定。					
目標達成度	A	R6年度に向けた方向性				
	成果	完了	完了年度	R5		
特記事項						

R4年度 事務事業評価シート

254

課・局・室・所(係)

文化スポーツ推進課

スポーツ振興係

事務事業番号

231020101

施策体系	大項目(章)			中項目(基本施策)			小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ		31	スポーツによるまちづくりの推進		2	スポーツ活動の推進		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分	
	1	スポーツによるまちづくり推進事業	1	レノファ山口とのパートナーシップ事業		3-(2)		交流	政策的	
事業概要	スポーツによるまちづくりと市民の一体感醸成のため、プロスポーツチームであるレノファ山口を活用し、選手による園児や小学生とのスポーツ交流事業などを実施する。選手やスタッフ等と市民が交流する場を作ることで、市民の一体感の醸成を促し、地域活性化やスポーツによるまちづくりを推進する。					対象	市民			
						手段	市民(保育園、学校等)を対象にしたスポーツ交流事業等の実施			
						意図	スポーツによるまちづくりの推進			

事業期間	R1以前	年度	～	R9以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R2(決算額)			R3(決算額)			R4(決算額)			R5(予算額)
支出内訳	スポーツ教室事業委託料	600千円		スポーツ教室事業委託料	600千円		スポーツ教室事業委託料	600千円		スポーツ教室事業委託料
				消耗品費	199千円		消耗品費	188千円		消耗品費
										機械器具借上料
										20千円
合計		600千円			799千円			788千円		800千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	ふるさと支援基金	600千円				ふるさと支援基金	788千円		ふるさと支援基金
	一般財源			100	799千円					
	合計		600千円		799千円			788千円		800千円
人工数	人件費	0.15人	869千円	0.30人	1,735千円		0.30人	1,558千円		
総経費		1,469千円			2,534千円			2,346千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標				R2	R3	R4	R5
1	交流行事の実施回数	活動		12回	15回	15回	15回
				2回	8回	11回	
				16.67%	53.33%	73.33%	
2	交流事業に参加した人数	活動		2,000人	2,000人	2,000人	2,000人
				261人	1,127人	1,627人	
				13.05%	56.35%	81.35%	
3							

成果	新型コロナウイルス感染症の影響はある中でも、交流事業を少しずつ実施することができ、選手・スタッフが保育園を訪れて、交流を行うことができた。					
R6年度に向けた課題及び改善策	保育園や小学生との事業を増やす。 庁内各課がレノファと連携できる事業について把握し、各課の予算での事業実施を促す。					
目標達成度	B	R6年度に向けた方向性				
		成果	拡充	コスト	拡大	
特記事項	選手・スタッフが参加する交流事業が増えた場合には、委託料の増額が必要と考える。					

R4年度 事務事業評価シート

255

課・局・室・所(係)

文化スポーツ推進課

スポーツ振興係

事務事業番号

231020102

施策体系	大項目(章)			中項目(基本施策)			小項目(基本事業)				
	5	教育・文化・スポーツ			31	スポーツによるまちづくりの推進		2	スポーツ活動の推進		
	実施計画名			事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分	
	1	スポーツによるまちづくり推進事業		2	パラサイクリング支援の輪拡大事業		3-(2)		運動 交流	政策的	
事業概要	パラサイクリングの主要競技の一つであり象徴的な機材であるタンデム自動車の体験会を実施し、パラサイクリングの魅力や本市とナショナルチームとの関わりの紹介を通じて、パラサイクリングを支援する人の輪を拡大する。 また小学校等での出前講座の実施により、パラサイクリングに対する市民への周知を図る。 【体験会】初心者向け 4回、中級者向け 2回 ※R4 タンデム自転車購入は地域公益事業で対応予定						対象	市民に限らず、パラサイクリングや自転車に興味のある人			
							手段	タンデム自転車体験会の実施、パラサイクリングナショナルチームの紹介			
							意図	パラサイクリング及びナショナルチームのファンの拡大、本市のPR、障がい者スポーツへの理解促進			

事業期間	R1以前	年度	～	R9以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R2(決算額)			R3(決算額)			R4(決算額)			R5(予算額)
支出内訳	報償金			報償金	千円	報償金	千円	報償金	千円	86千円
	消耗品費			消耗品費	12千円	消耗品費	千円	消耗品費	千円	52千円
	修繕料			修繕料	千円	修繕料	千円	修繕料	千円	17千円
	保険料			保険料	千円	保険料	千円	保険料	千円	45千円
	著作権等使用料			著作権等使用料	千円					
	機械器具費			機械器具費	千円					
	合 計				12千円					200千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	まちづくり魅力基金				ふるさと支援基金	千円	ふるさと支援基金	千円	200千円
	一般財源				12千円					
	合 計				12千円					200千円
人工数	人件費	0.16人	927千円	0.10人	578千円	0.16人	917千円			
	総経費		927千円		590千円		917千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標				R2	R3	R4	R5
1	タンデム自転車体験会・出前講座	活動		6回	6回	6回	6回
				0回	2回	4回	
				0.00%	33.33%	66.67%	
2							
3							

成果	出前講座、学校との交流事業を実施したが、イベント等での体験会の実施ができなかった。					
R6年度に向けた課題及び改善策	パラサイクリング連盟が合宿に来た時だけでなく、市内でのイベント時に体験乗車ができるようなブースを設けるなど、市民の方へパラサイクリングを知ってもらえる機会を作る。 小学校等での出前授業についても、より多くの学校で実施できるよう周知を図る。					
目標達成度	B	R6年度に向けた方向性				
		成果	拡充	コスト	現状維持	
特記事項						

R4年度 事務事業評価シート

256

課・局・室・所(係)

文化スポーツ推進課

スポーツ振興係

事務事業番号

231020103

施策体系	大項目(章)			中項目(基本施策)			小項目(基本事業)				
	5	教育・文化・スポーツ			31	スポーツによるまちづくりの推進		2	スポーツ活動の推進		
	実施計画名			事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分	
	1	スポーツによるまちづくり推進事業		3	パラサイクリングのまちPR事業		3-(2)		交流	政策的	
事業概要	令和4年6月に締結した「山陽小野田市と一般社団法人日本パラサイクリング連盟とのパラサイクリングによるまちづくりに関する包括連携協定」に基づき、東京2020パラリンピック後においてもパラサイクリング日本代表チームの支援を継続することで、パラサイクリングのまちとして情報発信を行う。また市民との交流事業を実施し、パラサイクリング日本代表チームを支えるファンの拡大を図る。 ○合宿誘致事業 ○交流事業						対象	市民及びパラサイクリングや自転車に興味のある人			
							手段	合宿の誘致、交流事業の開催			
							意図	パラサイクリング及び日本代表チームのファンの拡大、スポーツ振興、地域の活性化			

事業期間	R2	年度	～	R9以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R2(決算額)			R3(決算額)			R4(決算額)			R5(予算額)
支出内訳				報酬		76千円	合宿誘致事業補助金	396千円	合宿誘致事業補助金	1,000千円
				普通旅費		2千円	委託料	500千円	委託料	500千円
				消耗品費		294千円			消耗品費	100千円
				委託料		500千円			委託料(講演会事業)	
合計						872千円		896千円		1,600千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他						ふるさと支援基金	896千円	ふるさと支援基金	1,600千円
	一般財源					872千円				
	合計					872千円		896千円		1,600千円
人工数	人件費			0.30人		1,735千円	0.06人	344千円		
総経費			千円			2,607千円		1,240千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標				R2	R3	R4	R5
1	合宿の支援	活動		1回	1回	1回	1回
				1回	1回	1回	
				100.00%	100.00%	100.00%	
2	交流事業の開催	活動		1回	1回	1回	2回
				1回	1回	3回	
				100.00%	100.00%	300.00%	
3							

成果	合宿については、令和4年6月に実施し、小学生との交流事業も行うことができた。また、選手が保育園や学校を訪問する交流事業も2回実施し、パラサイクリングのまちとして情報発信を行うことができた。					
R6年度に向けた課題及び改善策	合宿の支援については、引き続き山陽オートレース場との調整を図りながら実施する。市民との交流事業については、合宿時以外でも選手やスタッフが本市での交流事業を行うことでパラサイクリングのことを知ってもらい機会としたい。					
目標達成度	A	R6年度に向けた方向性				
		成果	拡充	コスト	現状維持	
特記事項						

R4年度 事務事業評価シート

257

課・局・室・所(係)

文化スポーツ推進課

スポーツ振興係

事務事業番号

231020404

施策体系	大項目(章)			中項目(基本施策)			小項目(基本事業)				
	5	教育・文化・スポーツ			31	スポーツによるまちづくりの推進		2	スポーツ活動の推進		
	実施計画名			事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分	
	4	スポーツ団体・指導者育成・支援事業			4	スポーツ団体・指導者育成・支援事業(臨時分)					
事業概要	スポーツを支える「人財」を育成するうえで欠くことのできない山陽小野田市体育協会に補助金を交付し、各団体の運営基盤を強化し、スポーツをする気運を高める。 体育協会が独自に開催する研修会への助成を行うことで、スポーツによるまちづくりを推進する。						対象	スポーツ団体・指導者			
							手段	スポーツ推進委員・体育協会補助金			
							意図	スポーツ団体・指導者育成・支援事業			

事業期間	R4 年度	～	R9以降 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R2(決算額)		R3(決算額)		R4(決算額)		R5(予算額)	
支出内訳								
					全国スポーツ推進委員連合会費	13千円		
合計						13千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源					13千円		
	合計					13千円		
人工数 人件費					0.00人			
総経費		千円		千円		13千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標				R2	R3	R4	R5
1	研修会等開催回数	活動		15回	15回	15回	15回
				2回		16回	
				13.33%		106.66%	
2	年間研修会等参加者数	成果		400人		320人	
3							

成果	毎月の定例会を実施し、情報共有、行事等への参加調整、主催イベントの協議を行った。また山口県と厚狭地域の研修会へ参加した。					
R6年度に向けた課題及び改善策	主催イベントの内容の見直しについて協議を行う。					
目標達成度	B	R6年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項						